

サーバーマシンを入れ替えられる方へ

《TREND-ONE のデータ・設定の移行手順》

旧サーバーマシン→新サーバーマシンへの移行の流れ

1. ご利用中のパソコンでインストール方法を確認します

- サーバークライアント（共同編集あり）
- サーバークライアント（共同編集なし）

2. 新しいパソコンに、データ・設定を移行します

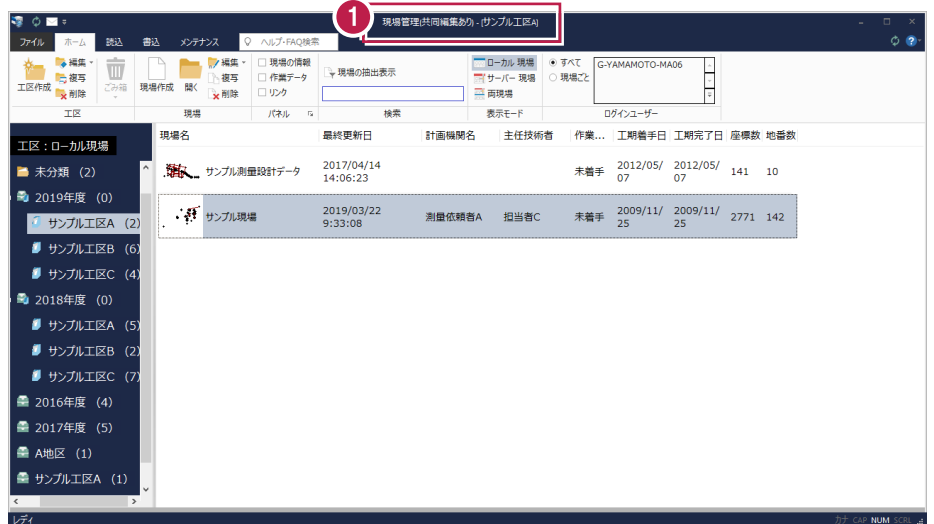
- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）

TREND-ONE のインストール方法を確認します

まず、ご利用中のTREND-ONEの「インストール方法」を確認します。
インストール方法によって、サーバーマシン入れ替えの手順が変わります。

TREND-ONEのインストール方法を確認する

- 1 TREND-ONE のプログラムがインストールされているパソコンで「現場管理」を起動して、ウィンドウのタイトルバーを確認します。



「現場管理（共同編集あり）」と表示されている場合は



3ページからの手順で、新しいサーバーマシンへの移行をおこないます。

3ページへ

「現場管理（共同編集なし）」と表示されている場合は



43ページからの手順で、新しいサーバーマシンへの移行をおこないます。

43ページへ

新しいサーバマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバクライアント（共同編集あり）用

旧サーバマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除
※ネット認証LANプロテクトをご利用の場合のみ



新サーバマシンでの作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
※ネット認証LANプロテクトをご利用の場合のみ
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバの参照先変更

1 データ・設定のバックアップ

まず、旧サーバマシンで、「サーバー現場データ」と「ローカル現場データ」「全設定」をバックアップします。

1-1 「サーバー現場データ」をバックアップする

サーバー現場データをバックアップする手順です。

「サーバー現場データのバックアップ」は、サーバーでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

① サーバのデスクトップにある

[TREND-ONE バックアップツール]

をダブルクリック、または

[スタートメニュー] -

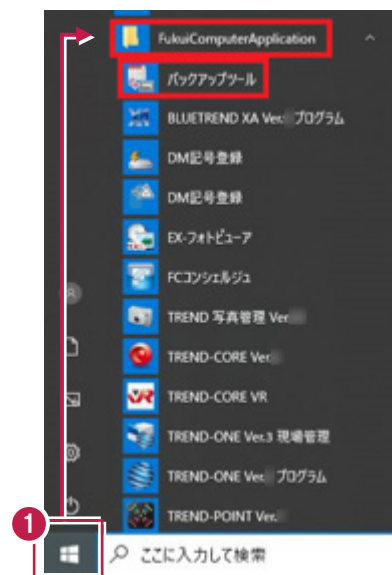
[FukuiComputerApplication] -
[バックアップツール]

をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
起動します。

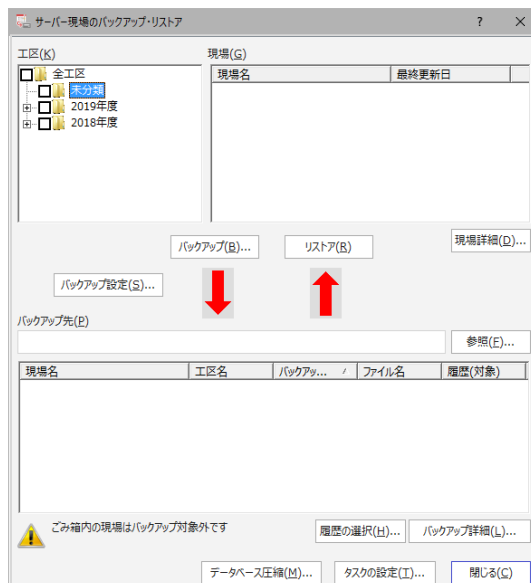
「デスクトップ」



「スタートメニュー」



「サーバーバックアップツール」

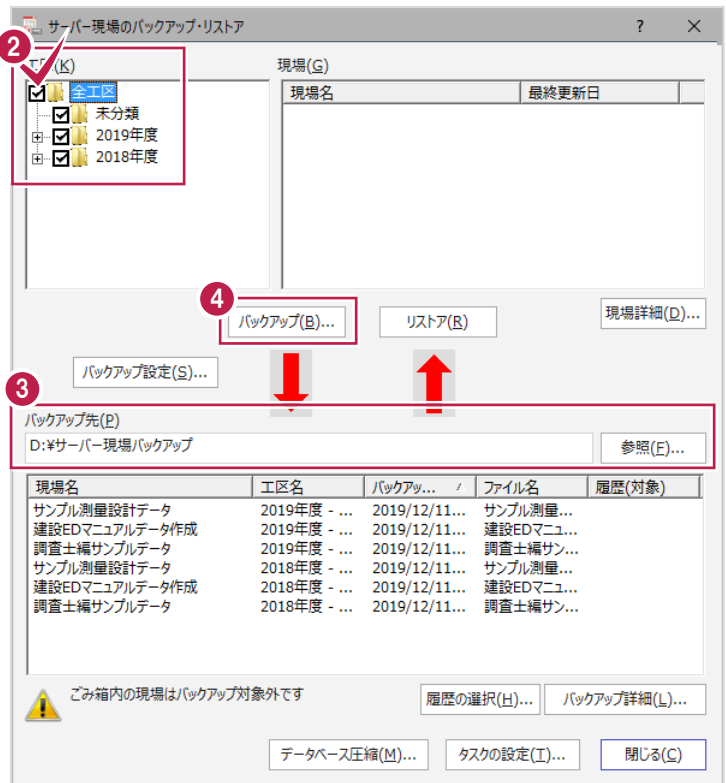


② 「全工区」のチェックをオンにします。

すべての工区のチェックが「オン」になったことを確認します。

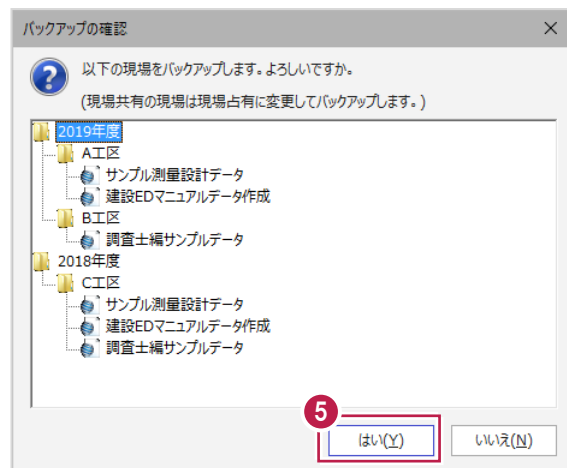
③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

④ [バックアップ] をクリックします。

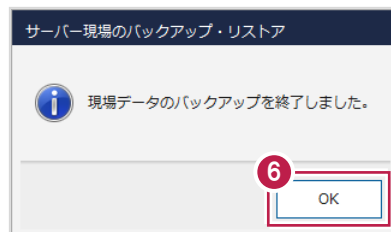


⑤ [はい] をクリックします。

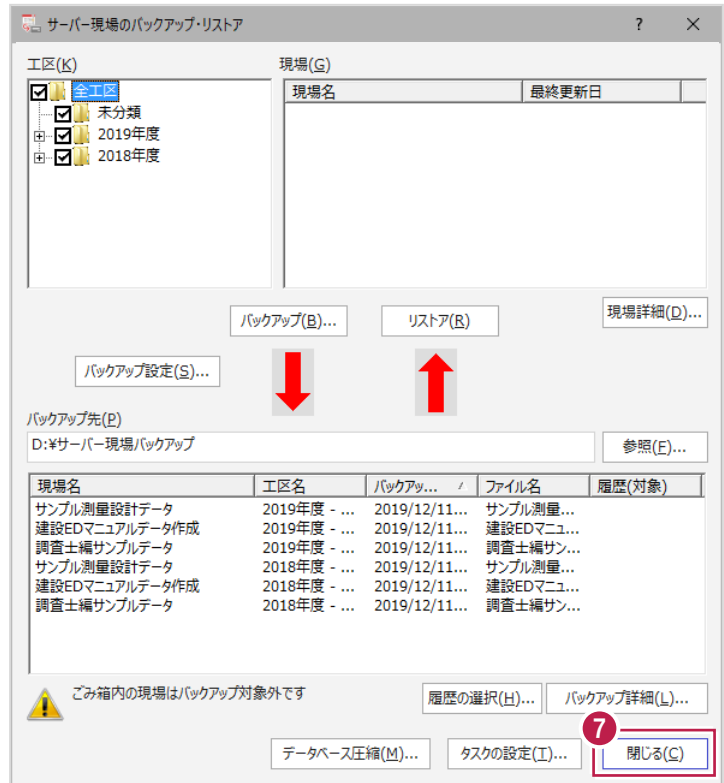
バックアップが開始されます。



⑥ バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。

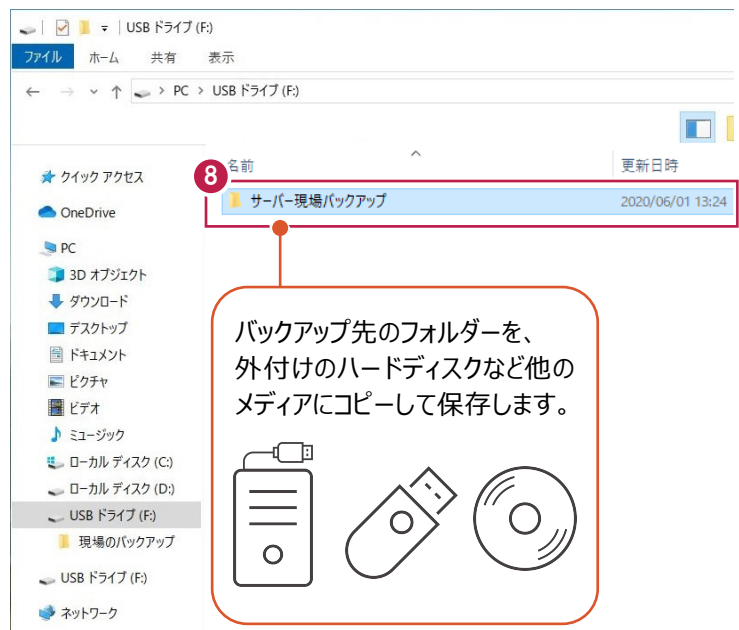


- 7 「サーバーバックアップツール」の「閉じる」をクリックして終了します。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「サーバー現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 ローカル現場データをバックアップする

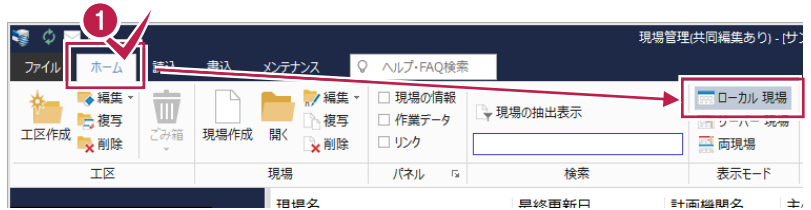
旧サーバマシンに保存されているローカル現場データをバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

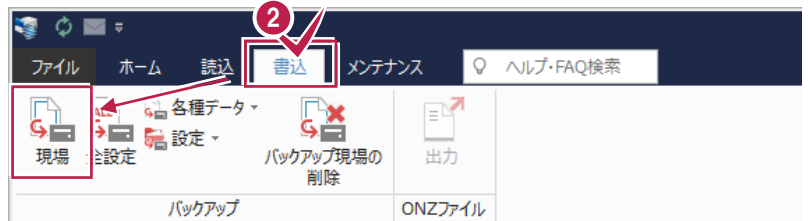
※以降の操作は、サーバマシンでTREND-ONEのプログラムを使用しており、かつローカル現場データが存在している場合のみ必要な操作です。

上記条件に当てはまらない場合は、必要ありません。

- ① 現場管理を起動して、[ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。

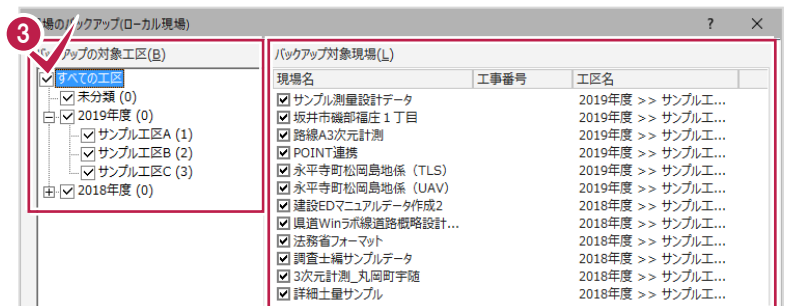


- ② [書込] タブー [バックアップ] グループー [現場] をクリックします。

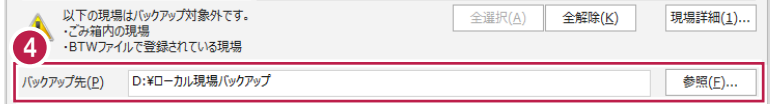


- ③ 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



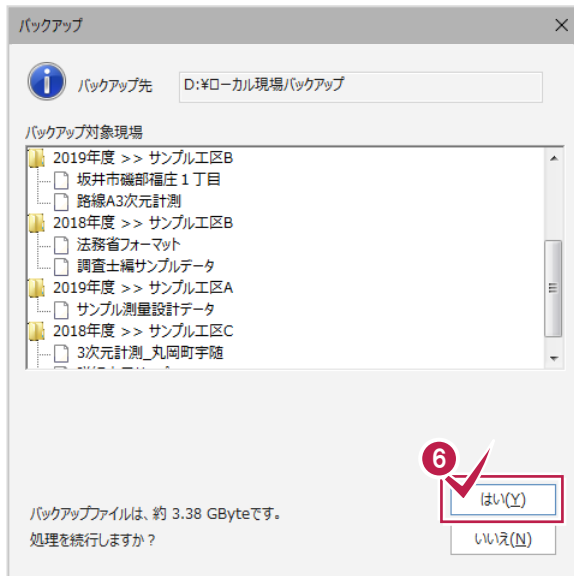
- ④ バックアップ先のフォルダーを指定します。



- ⑤ [バックアップ] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

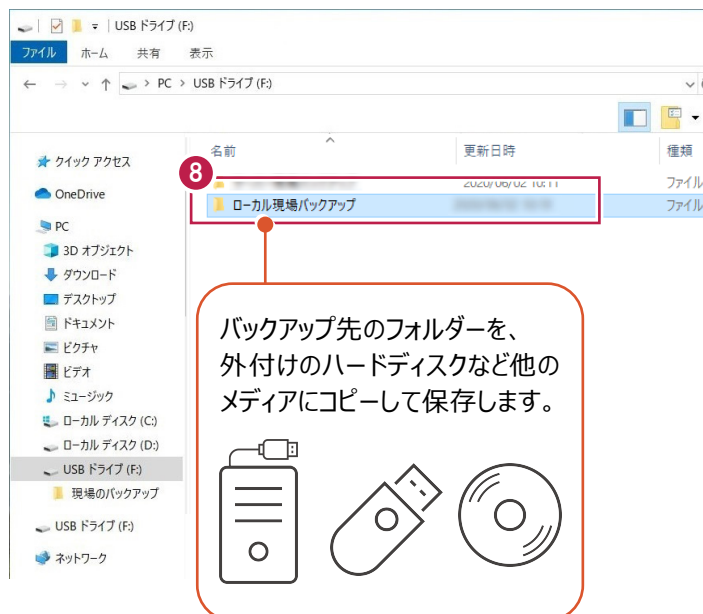


- 7 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「ローカル現場データのバックアップ」は完了です。



1-3 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「設定」のバックアップは、いずれか1台のパソコンでおこないます。

◆サーバーマシンでも TREND-ONE のプログラムを使用している場合

→サーバーマシンで操作をおこなってください。

◆クライアントマシンのみで TREND-ONE のプログラムを使用している場合

→いずれか1台のクライアントマシンで操作をおこなってください。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。



- 2 現場管理の [書込] タブー [バックアップ] グループー [全設定] をクリックします。



- 3 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。



4 バックアップ先のフォルダーを指定します。

5 [次へ] をクリックします。



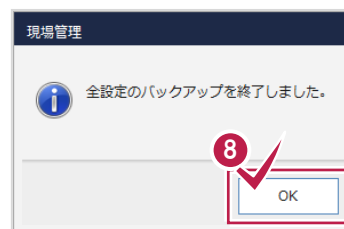
6 [実行] をクリックします。



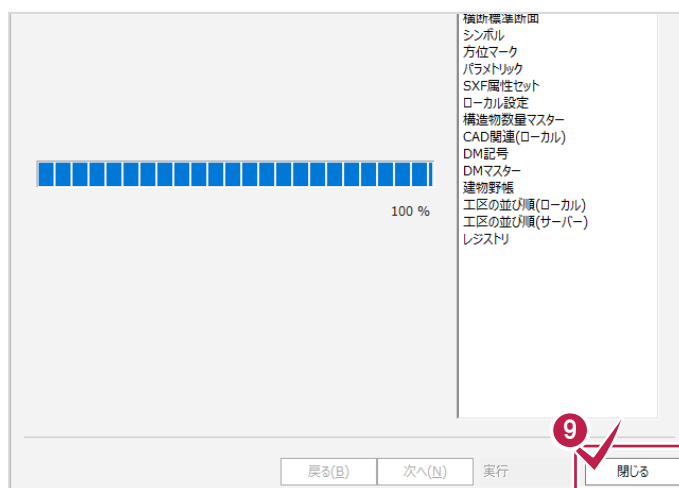
- 7 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 8 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

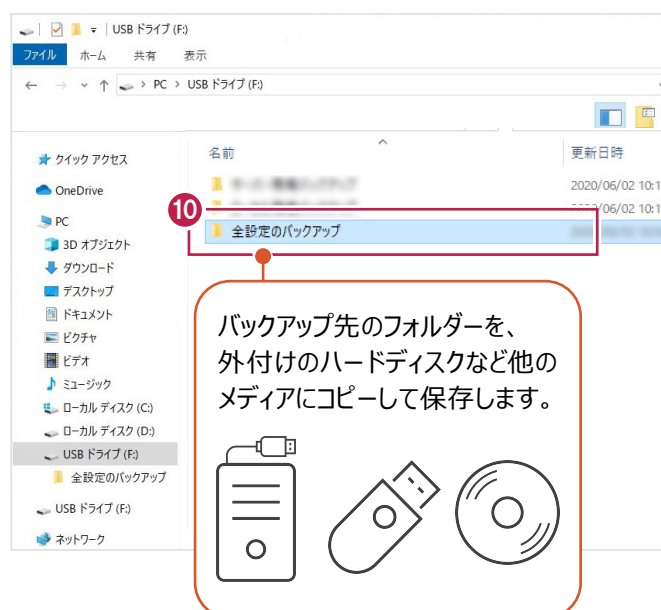


- 9 [閉じる] をクリックします。



- 10 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



3

FC コンシェルジュのインストール

新サーバマシンに、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- 2 検索結果の「各種ダウンロード | 土木 CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>

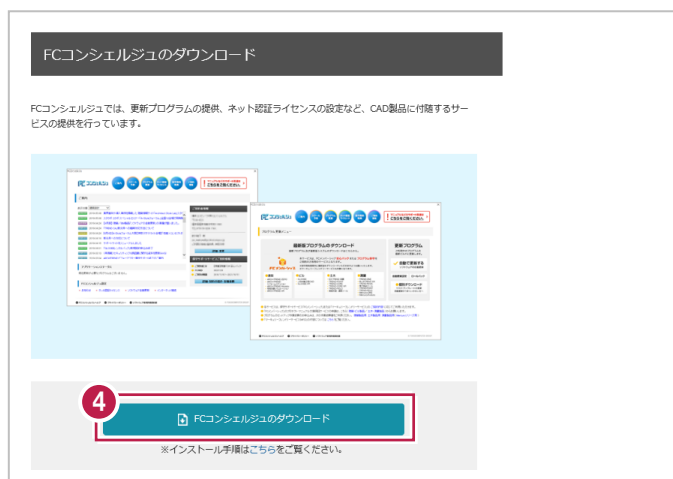


- 3 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。

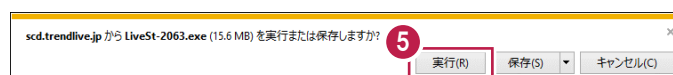


- ④ 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



- ⑤ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

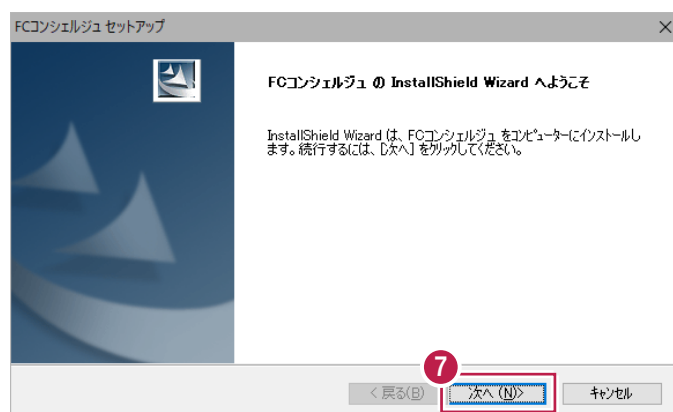
※PC に保存してから実行しても構いません。



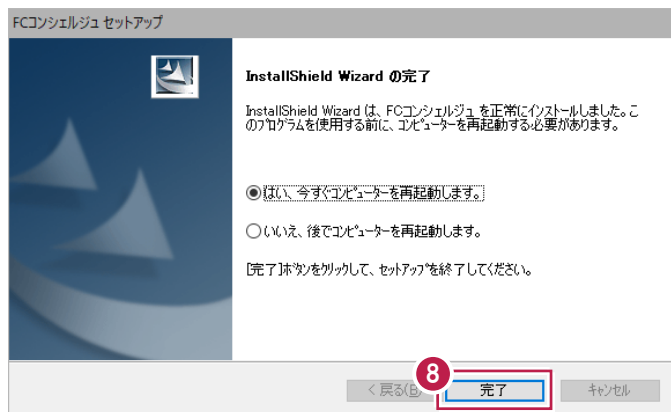
- ⑥ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



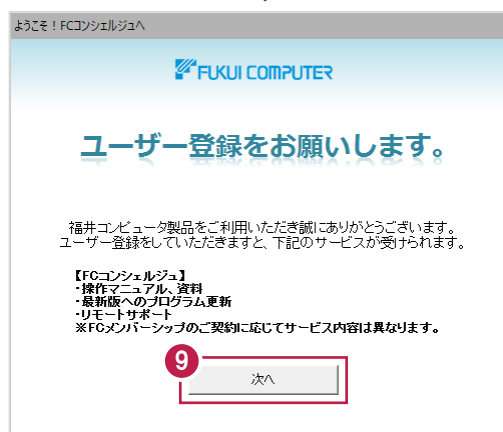
- ⑦ FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。
[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。

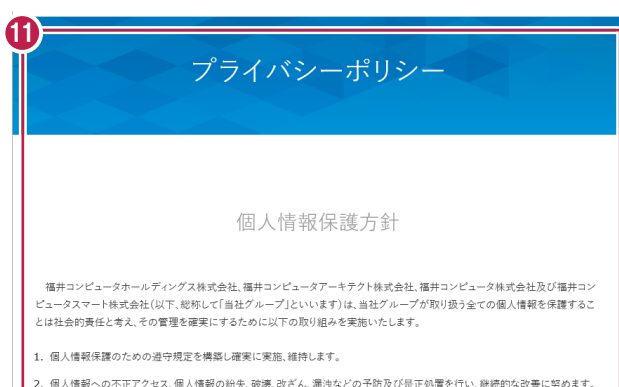


- ※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。

- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



- 12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



- 13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト裏面のシール

ユーザコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
[登録する] をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FC コンシェルジュが起動します。

以上で、「FC コンシェルジュのインストール」は完了
です。



4

TREND-ONE のインストール

新サーバーマシンにインストールしたFCコンシェルジュを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

※4-1、4-2 の操作は、ネット認証 LAN プロテクトをご利用の場合のみ必要な操作です。
上記条件に当てはまらない場合は、必要ありません。

4-1 ネット認証LANサーバーのインストール

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は、プログラムをインストールする前に、ライセンス管理用のサーバーに「ネット認証 LAN サーバー (ライセンス管理プログラム)」をセットアップします。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

① FC コンシェルジュの [プログラム更新] をクリック
します。



② [最新版プログラムのダウンロード] 画面が表示されるので [測量] をクリックします。



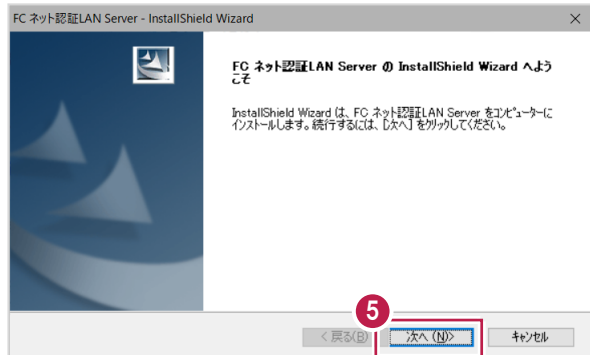
③ [LAN 型：ネット認証プロテクトをご利用のお客様] をクリックします。



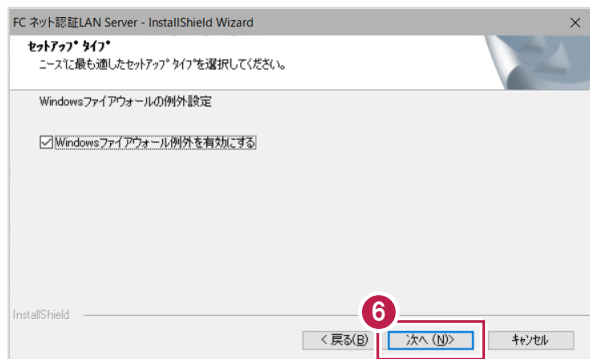
- 4 [サービスアプリケーション更新ファイルのダウンロード] をクリックし、画面の案内に沿って更新ファイルをダウンロードします。



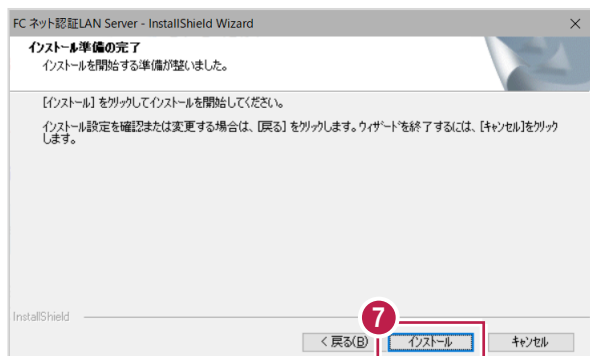
- 5 ダウンロードした「netlan」フォルダー内の「DLAS-LAN-SERVICSetup～.exe」を実行して、[次へ] をクリックし、サービスアプリケーションをインストールします。



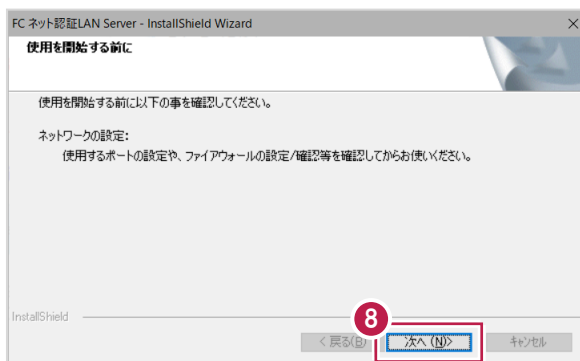
- 6 [次へ] をクリックします。



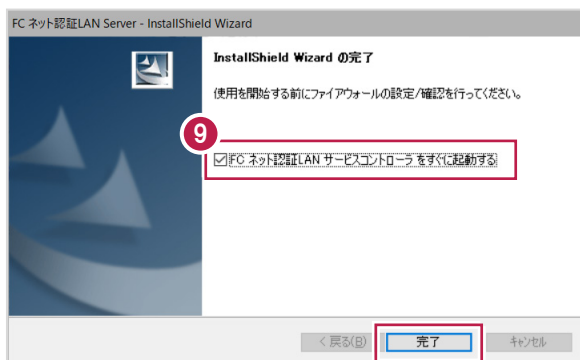
- 7 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



8 [次へ] をクリックします。



9 [FC ネット認証 LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] をクリックします。



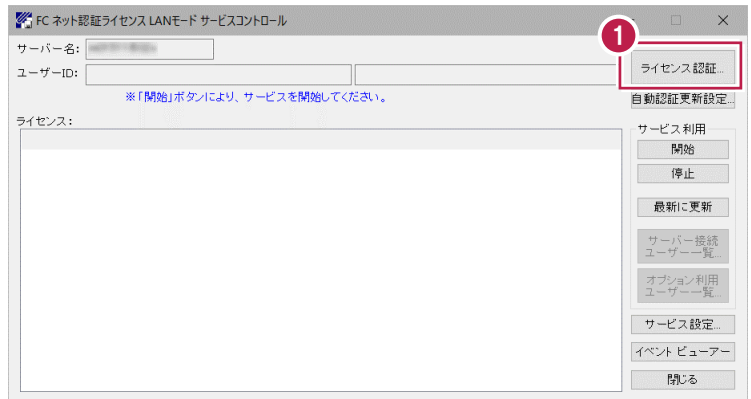
※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ進みます)

4-2 プロダクトIDの認証（サーバー）

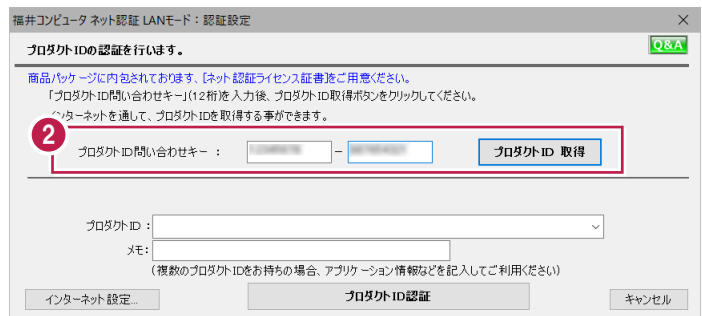
プロダクトIDの認証をおこないます。

- 1 [FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール] 画面の [ライセンス認証] を押します。

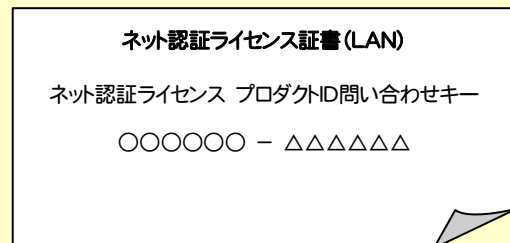


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows10：スタートメニュー
Windows8.1：スタート画面の「アプリ画面」
 から、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を起動してください。

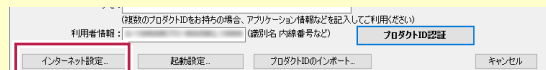
- 2 [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID 問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID 取得] を押します。



[プロダクトID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。
 送付される「ネット認証ライセンス証書(LAN)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

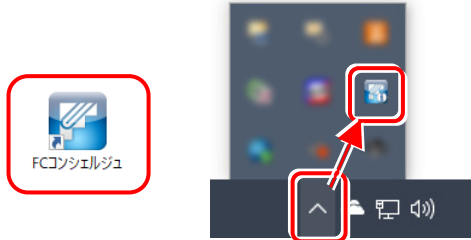


(次ページへ進みます)

4-3 プログラムのインストール

プログラムのインストールをおこないます。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



上部の「プログラム更新」をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。「測量」をクリックします。



[LAN型：ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。
※手順書はネット認証LANで進めています。ご契約のプロテクトタイプに進めてください。

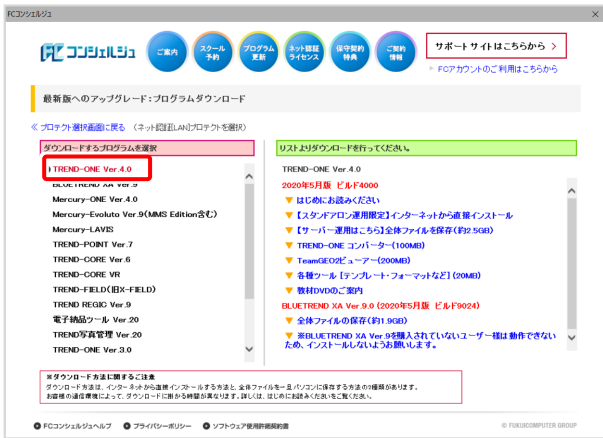


[次へ：最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。

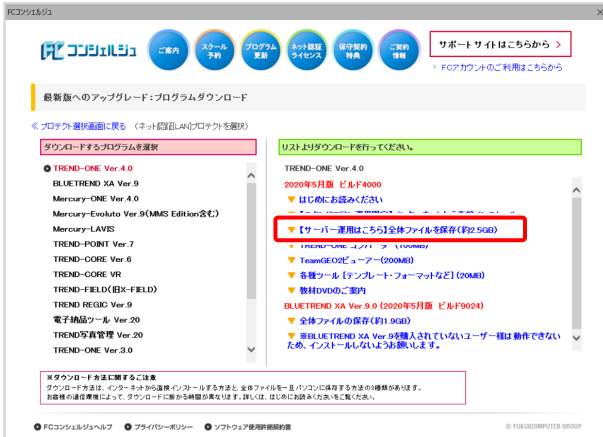


(次ページへ進みます)

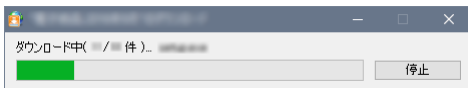
左の一覧で、[TREND-ONE]を選択します。



[[サーバー運用はこちら]全体ファイルを保存]をクリックします。



ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。



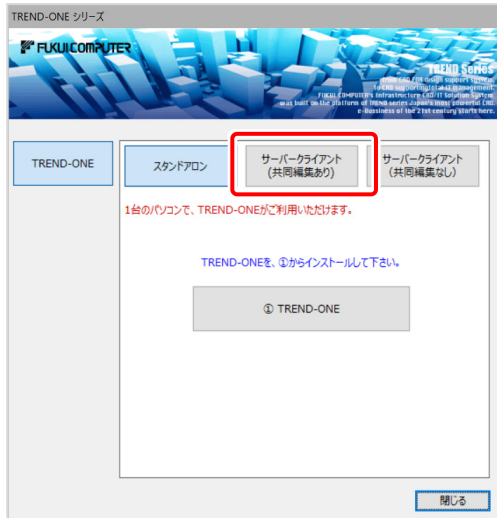
以上で、全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

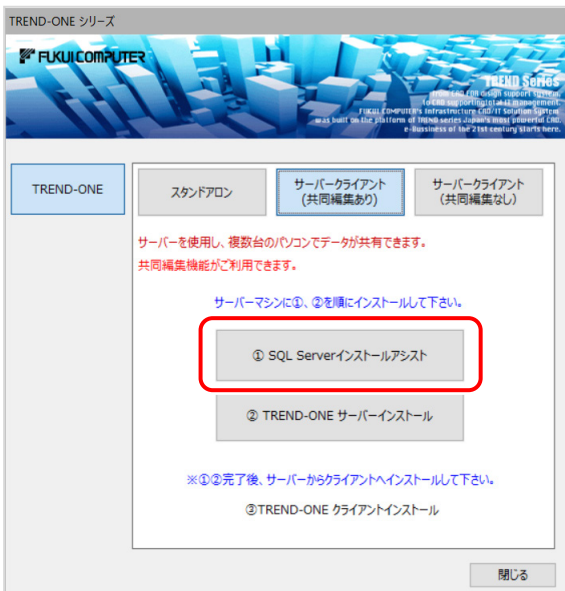
(次ページへ進みます)

まず、サーバマシンにプログラムをインストールします

1. セットアップ画面にて[サーバークライアント(共同編集あり)]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト] ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要な場合があります

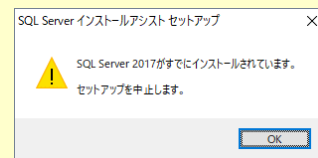
※ コンピューターに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。

次ページへ進んでください。

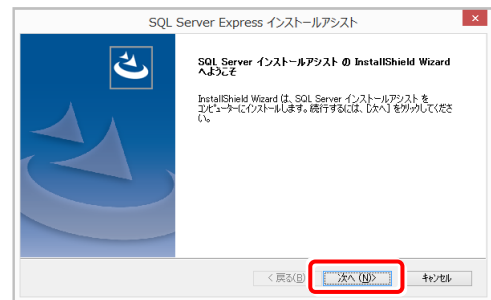
※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ(インストール)」を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページへ進んでください。

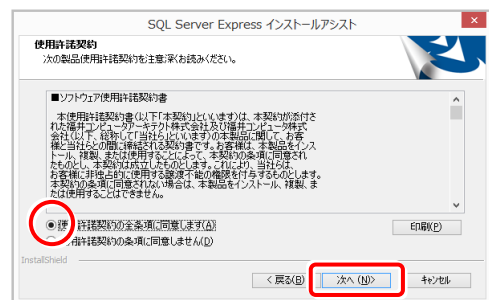
メッセージ例



- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。

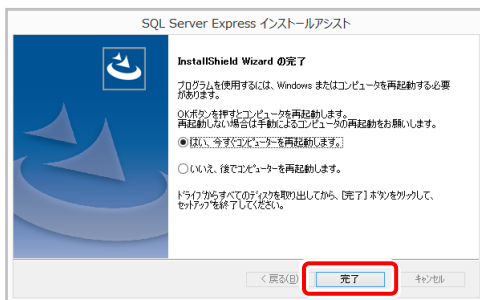
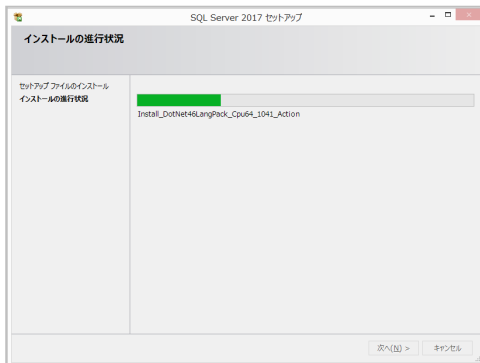
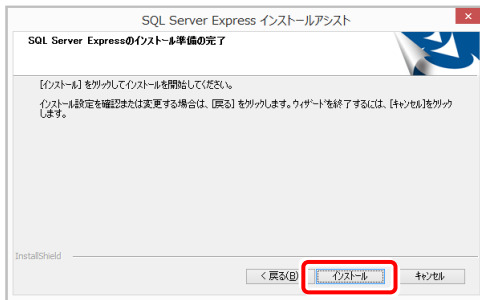
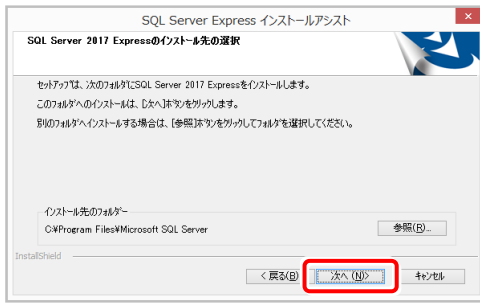


[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



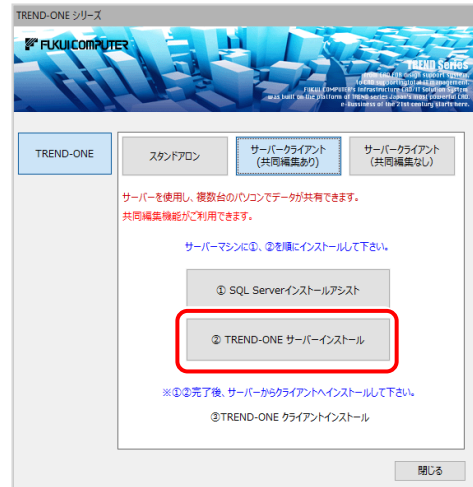
(次ページへ進みます)

プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

3. サーバーで、セットアップ画面の[② TREND-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。



4. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。

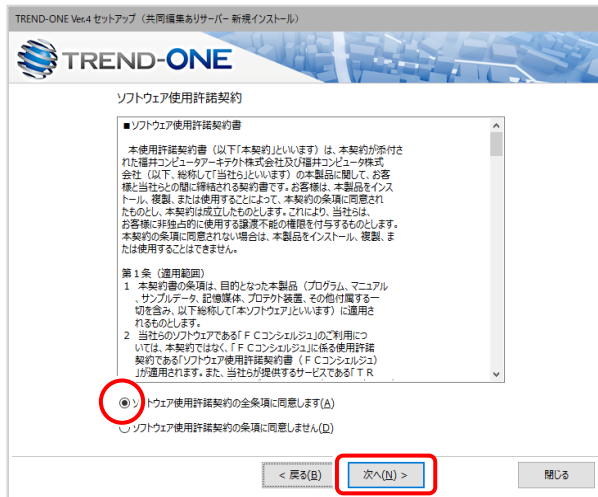


(次ページへ進みます)

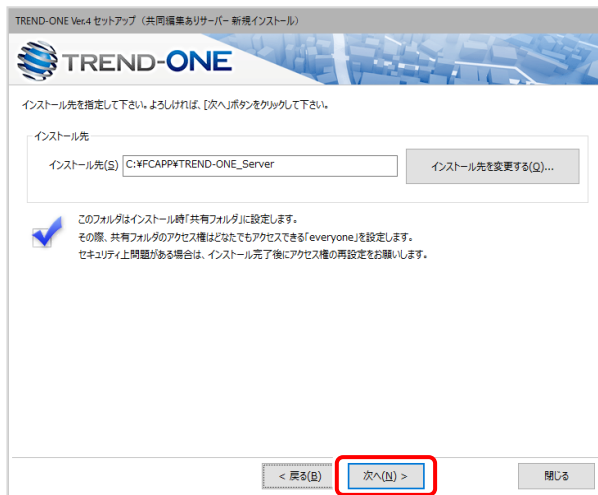
表示される画面に従って、インストールを進めます。



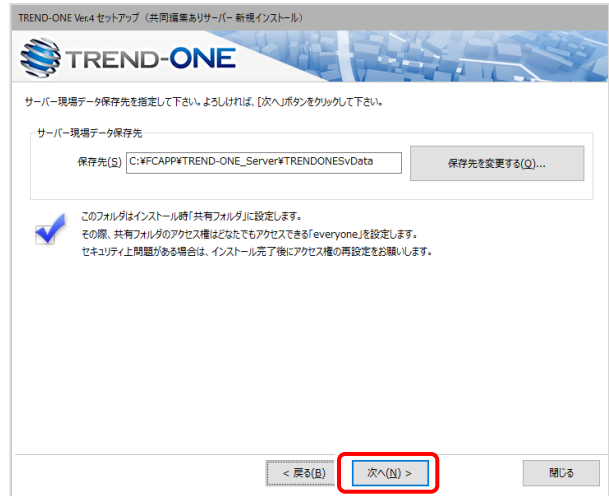
[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



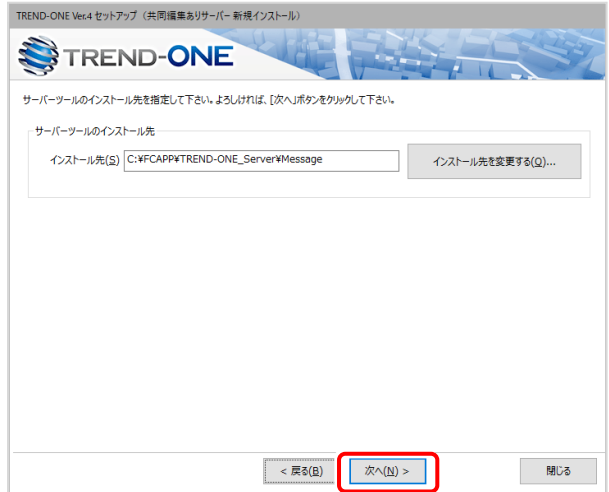
プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



サーバークライアントデータの保存先を確認して、[次へ]を押します。

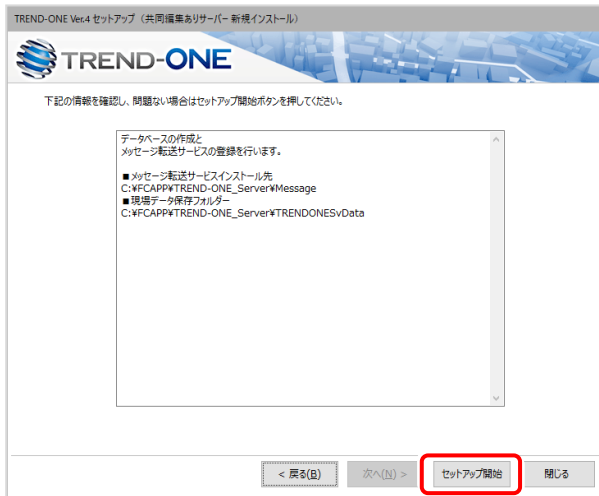


サーバークライアントのインストール先を確認して、[次へ]を押します。



(次ページへ進みます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

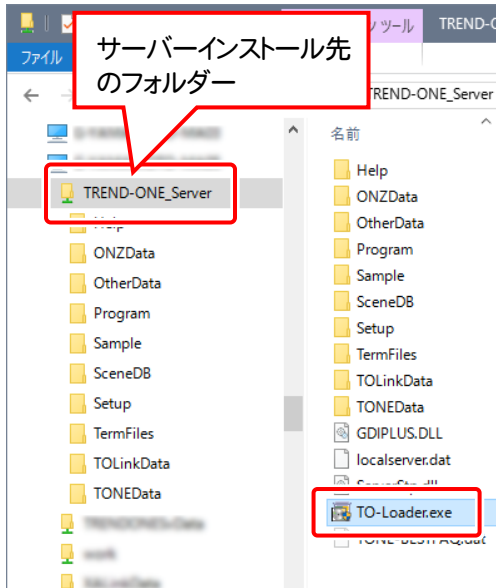
以上で、サーバーのインストールは完了です。

続いて次ページへ進みます。

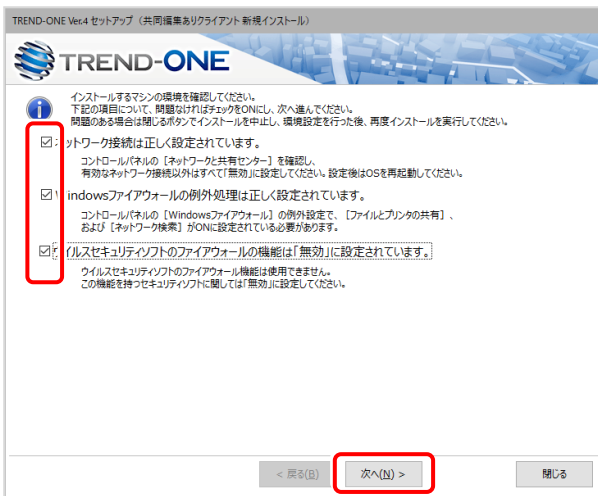
次に、サーバーマシンにクライアントインストールをします

※これらの操作は、サーバーマシンでも TREND-ONE を使用する場合のみおこなってください。

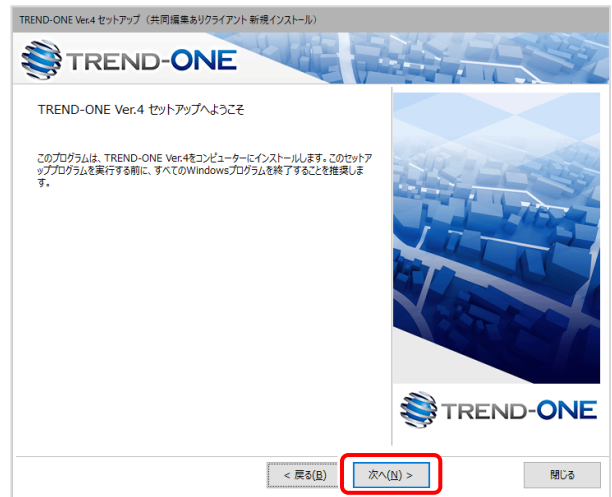
1. エクスプローラーを開き、「ネットワーク」からサーバーを参照して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある、「TO-Loader.exe」を実行します。



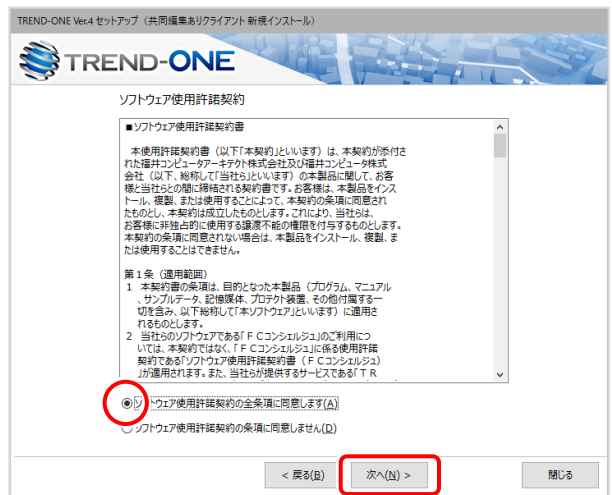
2. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ進みます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。

必ず確認してください。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

サーバー名を確認して次へ進みます。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。

5 ライセンスの取得

新サーバマシン、およびクライアントマシンでプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（LAN）の「ライセンス取得」をおこないます。

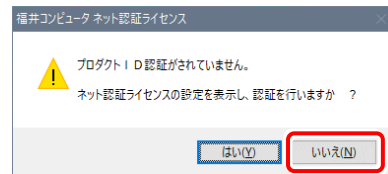
5-1 ネット認証ライセンス（LAN）の、ライセンス取得手順

ネット認証ライセンスを取得します。

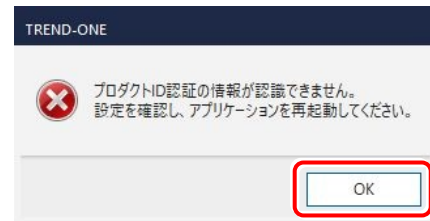
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



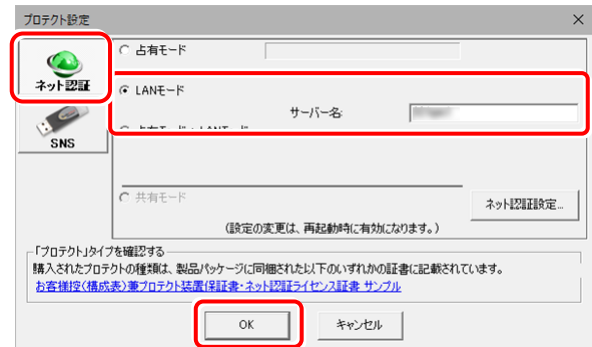
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ]を選択します。



次に表示されるメッセージは[OK]をクリックします。

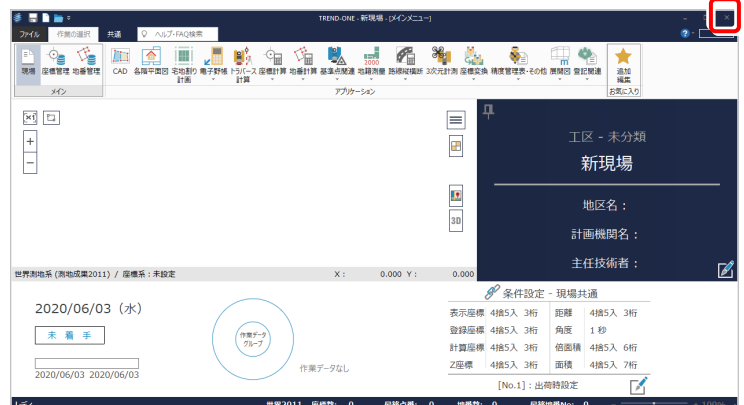


3. [プロテクト設定]画面で[ネット認証]の[LANモード]を選択してサーバー名を入力し[OK]をクリックします。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の[×]ボタンをクリックして、プログラムを終了します。



以上でライセンスの取得は完了です。

6 データ・設定のリストア（復元）

旧サーバマシンでバックアップしたTREND-ONEの「サーバー現場データ」、「ローカル現場データ」、「全設定」を、新サーバマシンのTREND-ONEにリストア（復元）します。

※データ・設定のリストア（復元）をクライアントマシンからおこなう場合は、「8 サーバーの参照先変更」を先におこなってください。

6-1 「サーバー現場データ」をリストア（復元）する

「サーバー現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに「サーバー現場データ」をリストア（復元）する手順です。

「サーバー現場データのリストア（復元）」は、サーバーでおこないます。

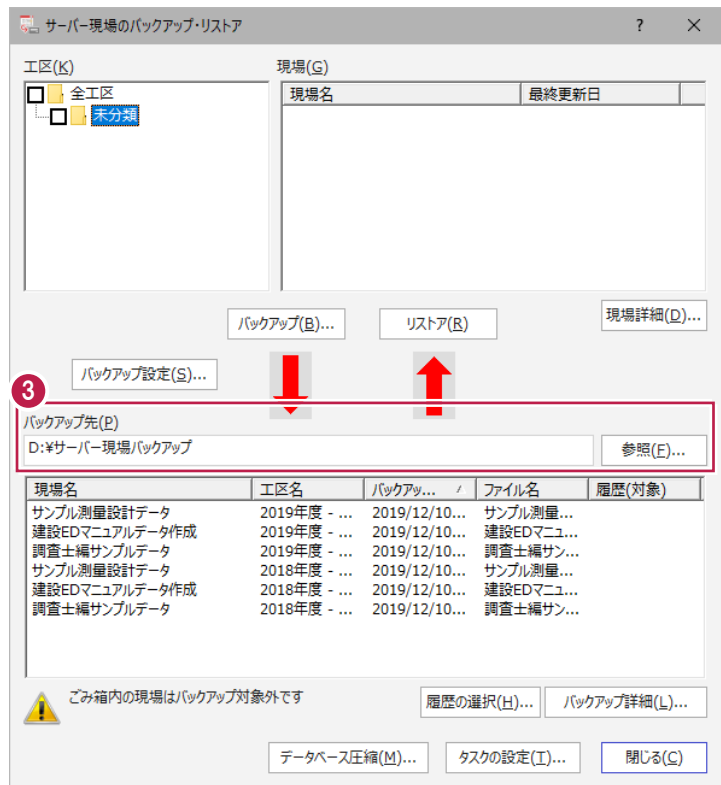
- 1 サーバーに、「サーバー現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 サーバーのデスクトップにある
[TREND-ONE バックアップツール]
をダブルクリック、または
[スタートメニュー] -
[FukuiComputerApplication] -
[バックアップツール]
をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
起動します。



- ③ [バックアップ先] で、「サーバー現場データ」のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ 一番上の現場データをクリックした後、「Shift」キーを押しながら、一番下の現場データをクリックして、現場データをすべて選択します。

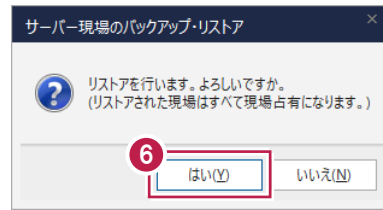


- ⑤ [リストア] をクリックします。

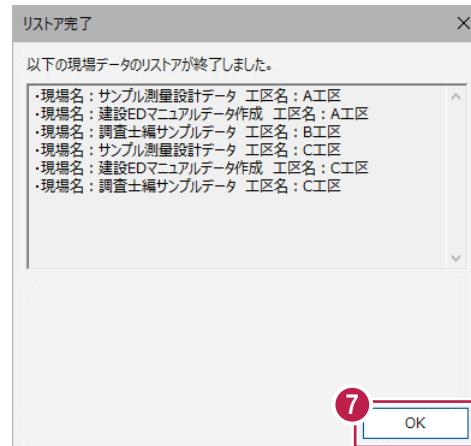


6 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



7 リストアが終了したら、[OK] をクリックします。



8 リストア（復元）された「工区」と「現場」を確認します。

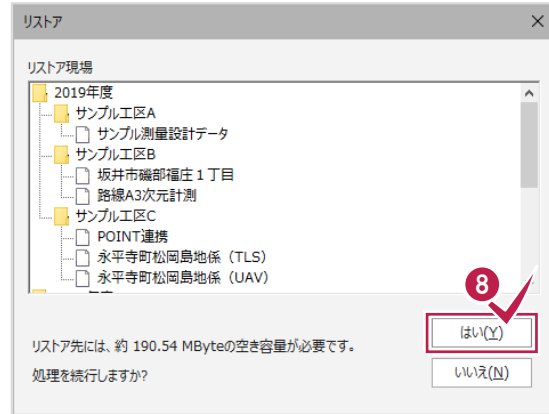


9 [閉じる] をクリックして、「サーバーバックアップツール」を終了します。

以上で「サーバー現場データのリストア（復元）」は完了です。

8 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「ローカル現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-3 「全設定」をリストア（復元）する

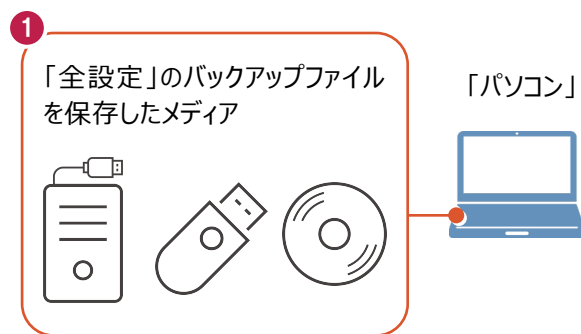
「全設定」のバックアップファイルを使用して、全設定をリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のパソコンでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

1 いずれか 1 台のパソコンに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



2 [読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。

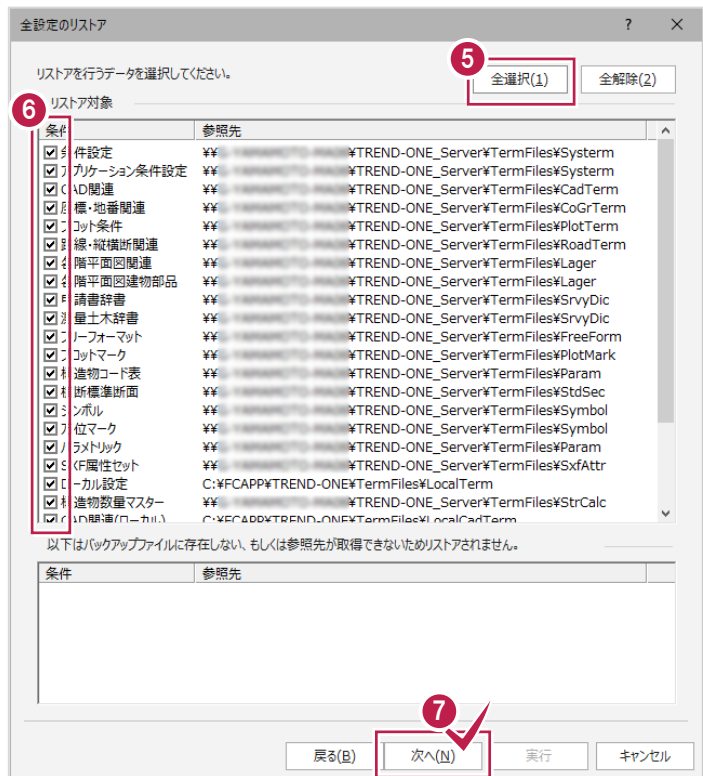


- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [全選択] をクリックします。



- ⑥ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- ⑦ [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

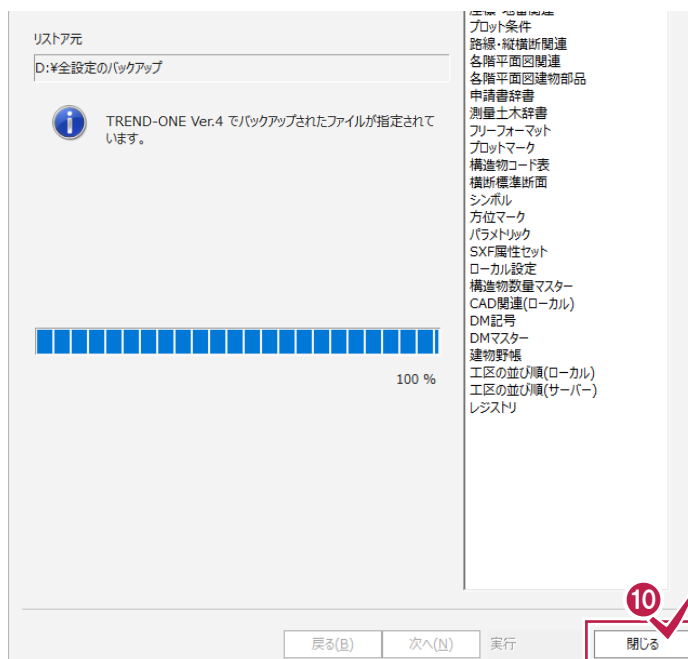


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上でサーバーの「全設定のリストア（復元）」は完了です。



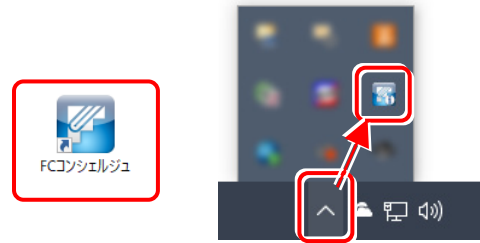
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

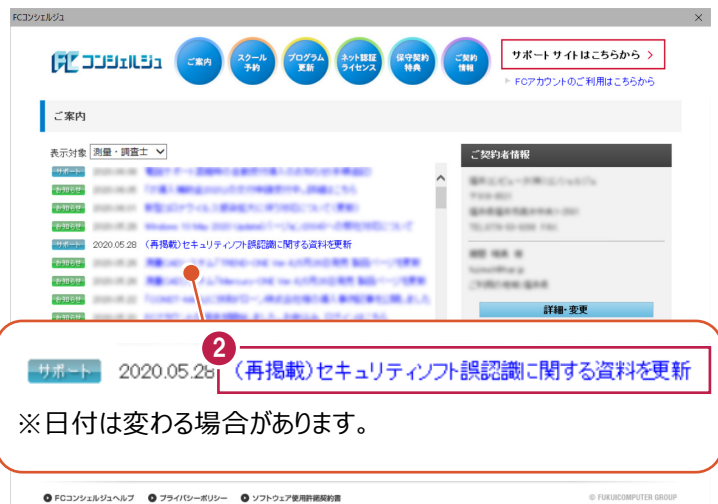
7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。



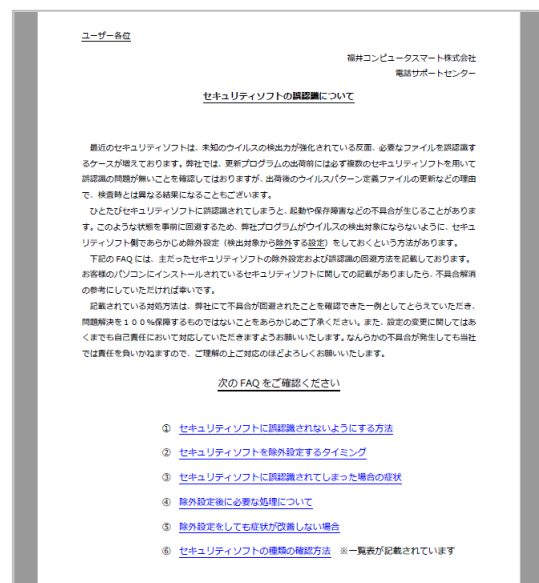
- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。

（※ご案内の日付は変わる場合があります。）

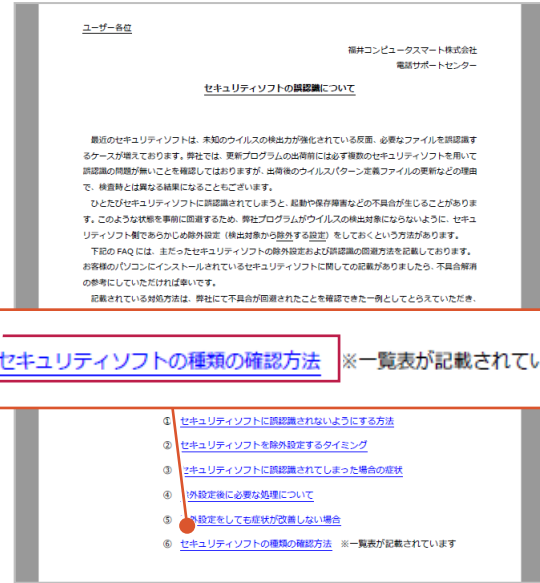


※日付は変わる場合があります。

- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトのFAQが表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連>セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2020/05/27
Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。							
A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。							

5

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ウイルスバスター ビジネスセキュリティ クライアント ウイルスバスター ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション（クライアント） ウイルスバスター コーポレートエディション（サーバー）
ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイントプロテクション エンドポイントプロテクションクラウド
マイクロソフト	セキュリティ エッセンシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16 エンドポイント セキュリティ

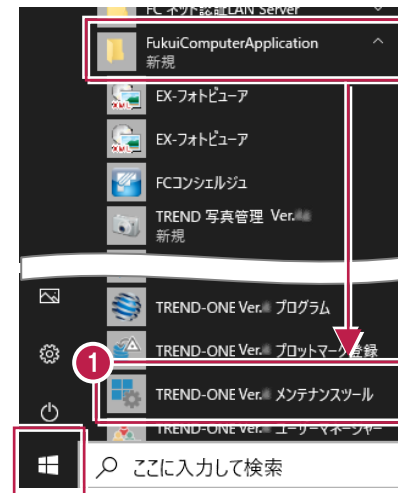
8 サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。

8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

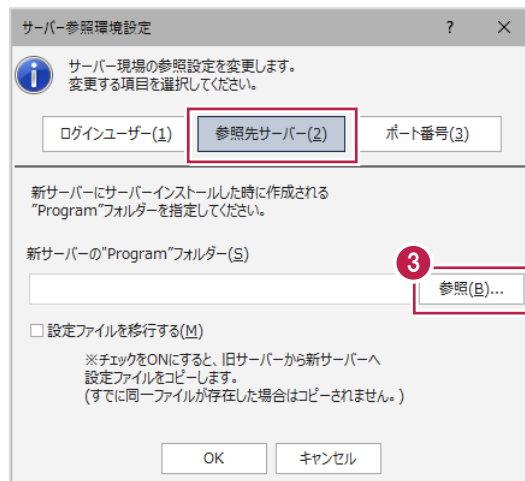
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] – [TREND-ONE Ver.~メンテナンスツール] を起動します。



- 2 メンテナンスツールの画面が表示されたら、[サーバー現場の変更] をクリックします

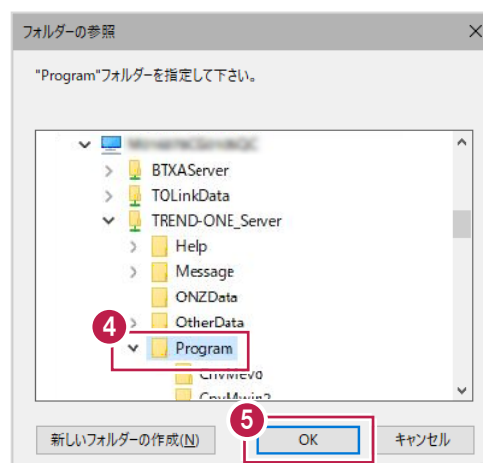


- ③ サーバー参照環境設定の画面で「参照先サーバー」を選択し「参照」をクリックします。



- ④ 新サーバーマシンの
「TREND-ONE_Server¥Program」
フォルダーを指定します。

- ⑤ [OK] をクリックします。



以上で、クライアントマシンのサーバー参照先変更は完了です。

新しいサーバーマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集なし）用

旧サーバーマシンでの作業

- ①データ・設定のバックアップ
- ②ライセンスの解除
※ネット認証LANプロテクトをご利用の場合のみ



新サーバーマシンでの作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
※ネット認証LANプロテクトをご利用の場合のみ
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバーの参照先変更

1 データ・設定のバックアップ

まず「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のバックアップは、いずれか1台のパソコンでおこないます。

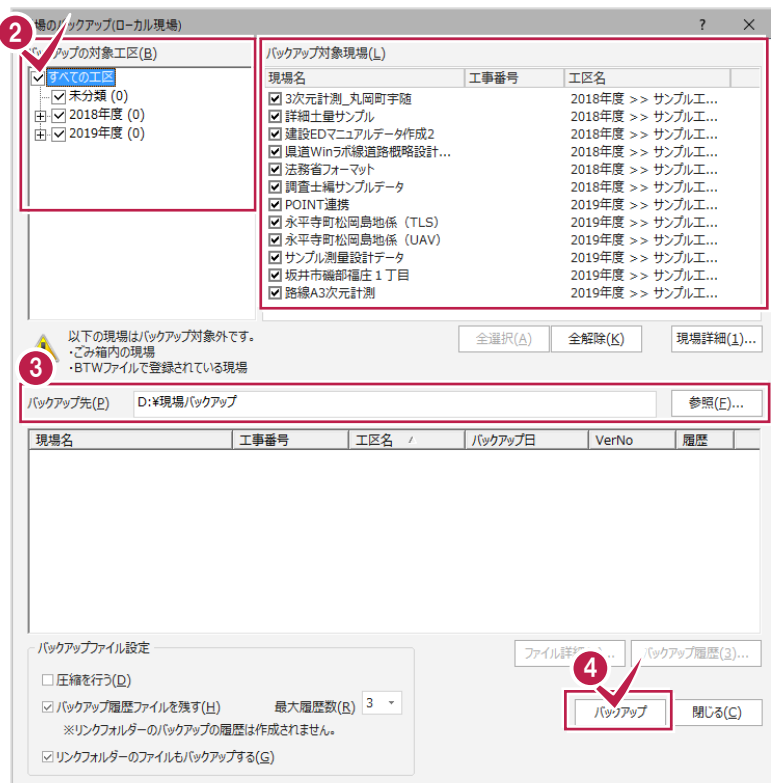
- ◆サーバーマシンでもTREND-ONEのプログラムを使用している場合は
→サーバーマシンで操作をおこなってください。
 - ◆クライアントマシンのみでTREND-ONEのプログラムを使用している場合
→いずれか1台のクライアントマシンで操作をおこなってください。
- ※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブ
[バックアップ] グループ - [現場] をクリック
します。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

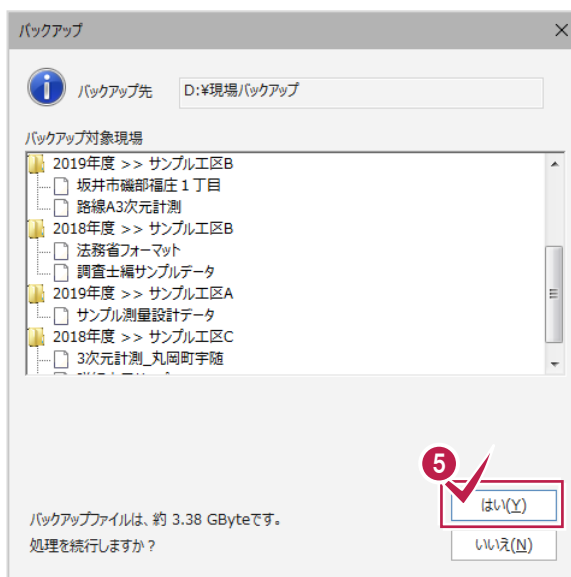
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

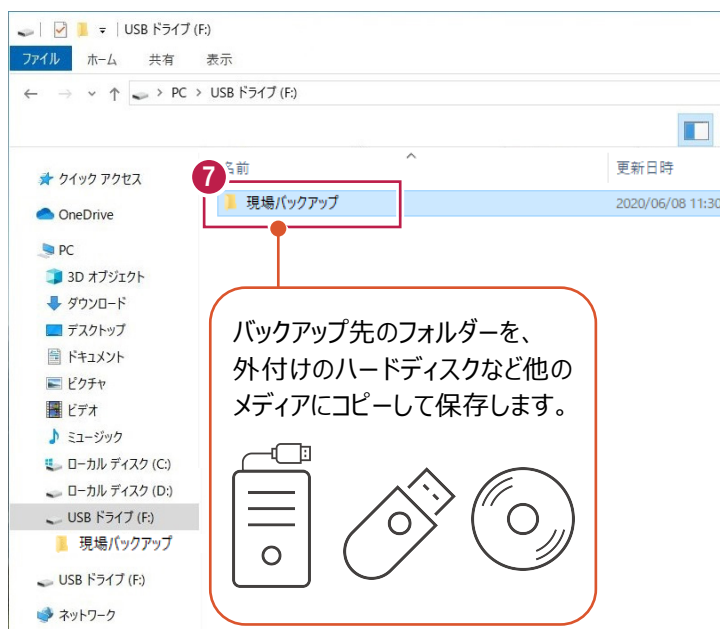


- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。

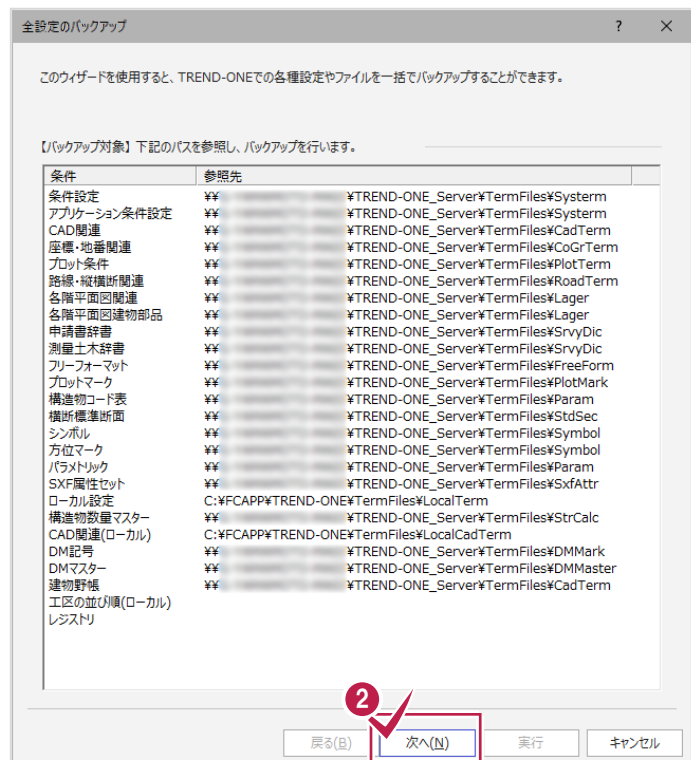


1-2 全設定をバックアップする

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。



3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

4 [次へ] をクリックします。



5 [実行] をクリックします。



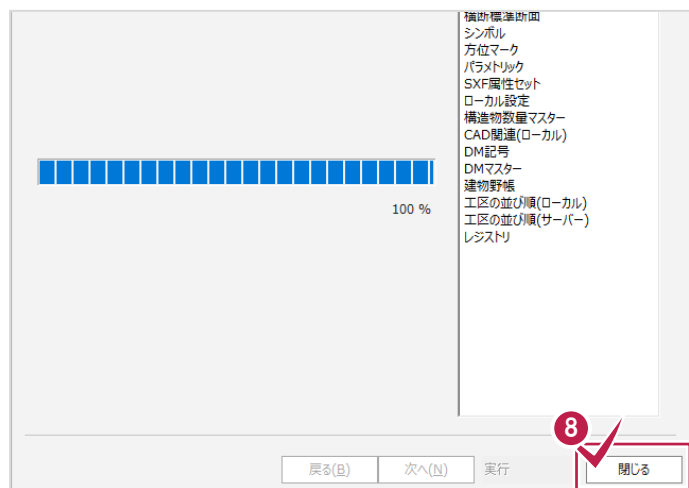
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

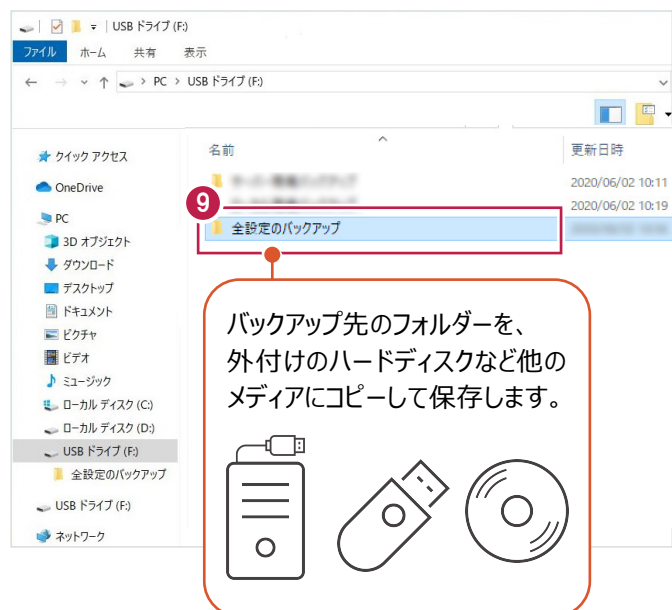


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



3

FC コンシェルジュのインストール

新サーバーマシンに、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- 2 検索結果の「各種ダウンロード | 土木 CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>

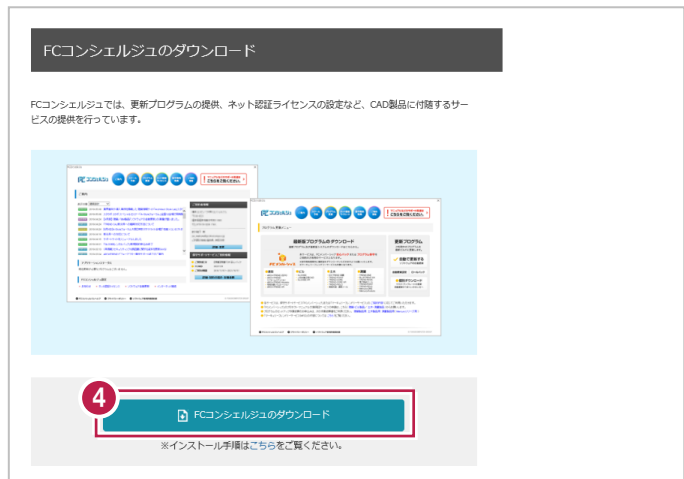


- 3 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。

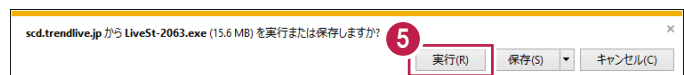


- ④ 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



- ⑤ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

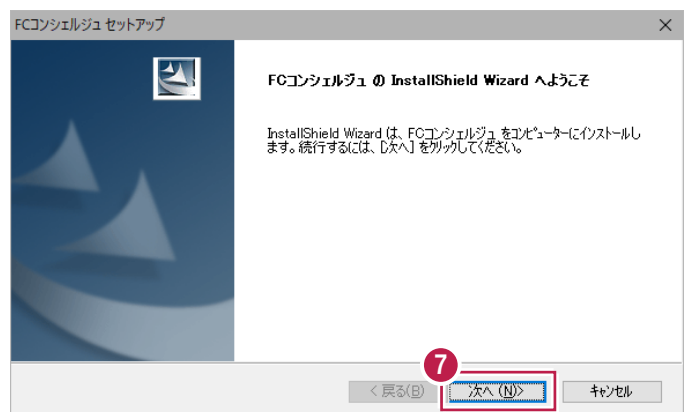
※PC に保存してから実行しても構いません。



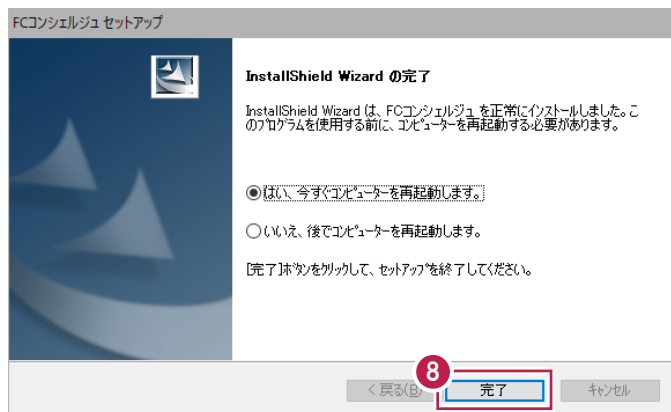
- ⑥ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



- ⑦ FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。

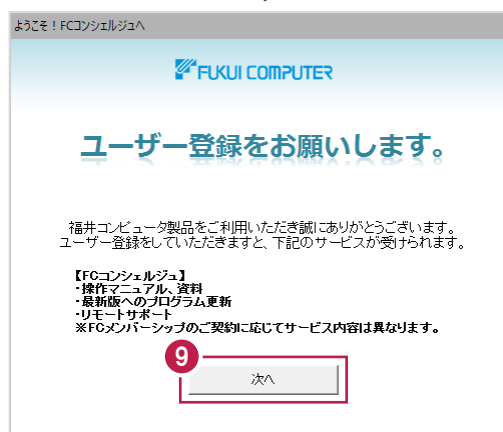


- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。
[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。

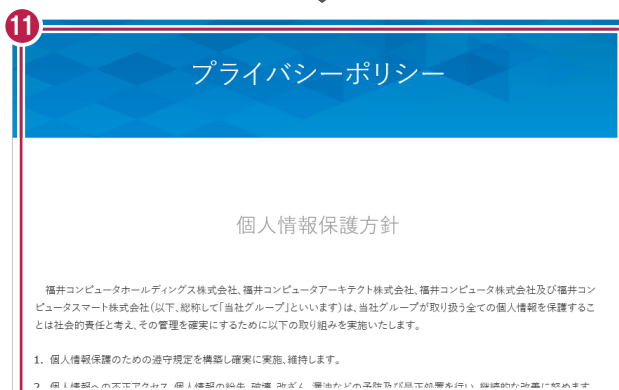
※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。



- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



- 12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



- 13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト表面のシール

ユーザーコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
「登録する」をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FC コンシェルジュが起動します。

以上で、「FC コンシェルジュのインストール」は完了です。



4 TREND-ONE のインストール

新サーバーマシンにインストールしたFCコンシェルジュを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

※4-1、4-2 の操作は、ネット認証 LAN プロテクトをご利用の場合のみ必要な操作です。
上記条件に当てはまらない場合は、必要ありません。

4-1 ネット認証LANサーバーのインストール

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は、プログラムをインストールする前に、ライセンス管理用のサーバーに「ネット認証 LAN サーバー (ライセンス管理プログラム)」をセットアップします。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

- 1 FC コンシェルジュの [プログラム更新] をクリックします。



- 2 [最新版プログラムのダウンロード] 画面が表示されますので [測量] をクリックします。



- 3 [LAN 型：ネット認証プロテクトをご利用のお客様] をクリックします。



- 4 [サービスアプリケーション更新ファイルのダウンロード] をクリックし、画面の案内に沿って更新ファイルをダウンロードします。



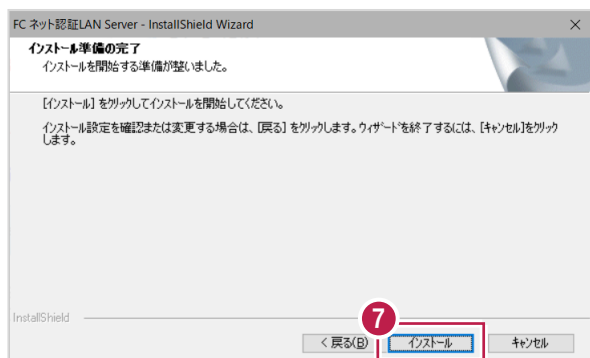
- 5 ダウンロードした「netlan」フォルダー内の「DLAS-LAN-SERVICSetup～.exe」を実行して、[次へ] をクリックし、サービスアプリケーションをインストールします



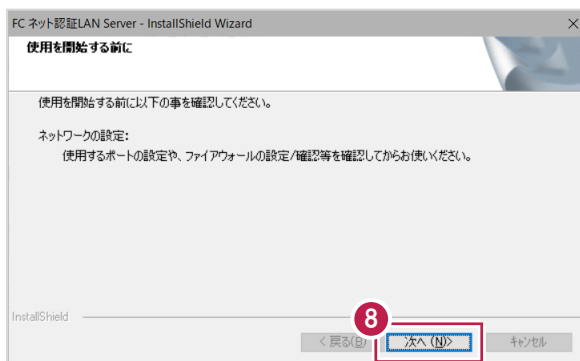
- 6 [次へ] をクリックします。



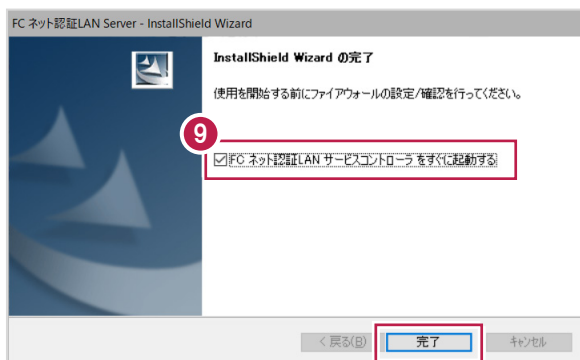
- 7 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



8 [次へ] をクリックします。



9 [FC ネット認証 LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] をクリックします。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ進みます)

4-2 プロダクトIDの認証（サーバー）

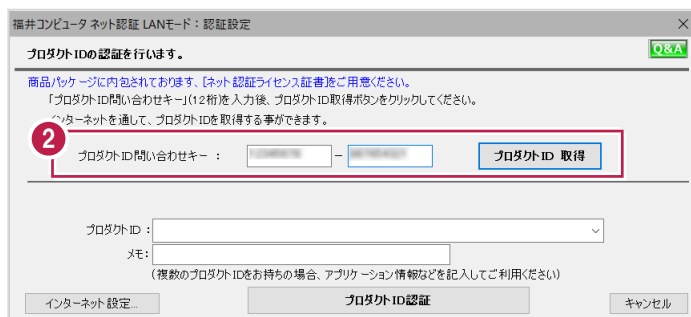
プロダクトIDの認証をおこないます。

- 1 [FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール] 画面の、[ライセンス認証] を押します。

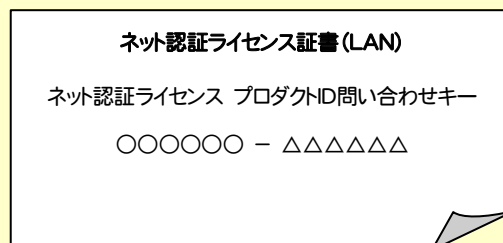


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows10：スタートメニュー
Windows8.1：スタート画面の「アプリ画面」
 から、[FC ネット認証LAN Server]—[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を起動してください。

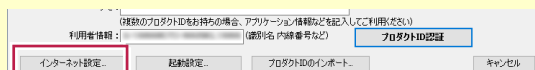
- 2 [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID 問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID 取得] を押します。



[プロダクトID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。
 送付される「ネット認証ライセンス証書(LAN)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

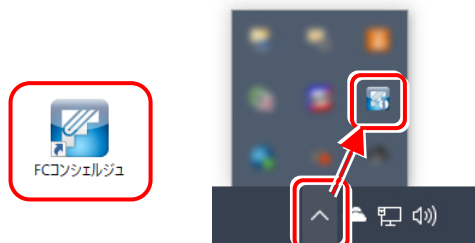


(次ページへ進みます)

4-3 プログラムのインストール

プログラムのインストールをおこないます。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



上部の[プログラム更新]をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。
[測量]をクリックします。



[LAN型: ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。
※手順書はネット認証LANで進めています。ご契約のプロテクトタイプを進めてください。

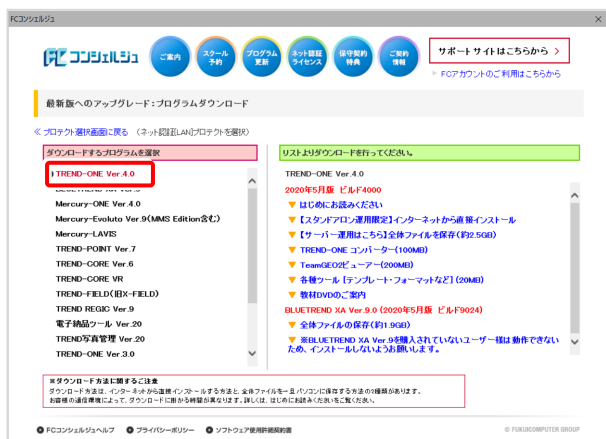


[次へ: 最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。

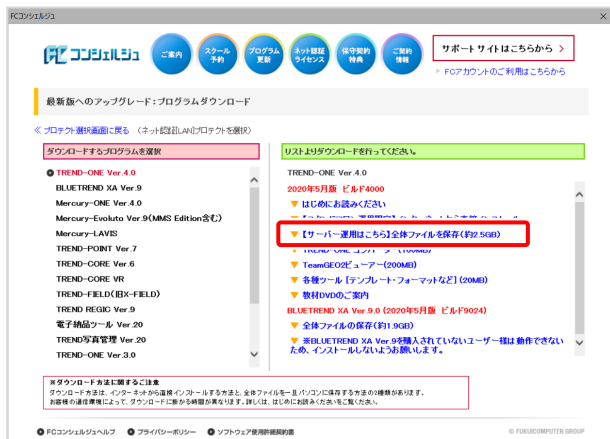


(次ページへ進みます)

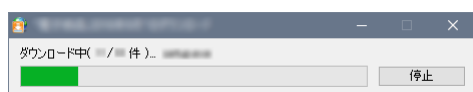
左の一覧で、[TREND-ONE]を選択します。



【【サーバークライアント】全体ファイルを保存】をクリックします。



ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。
続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

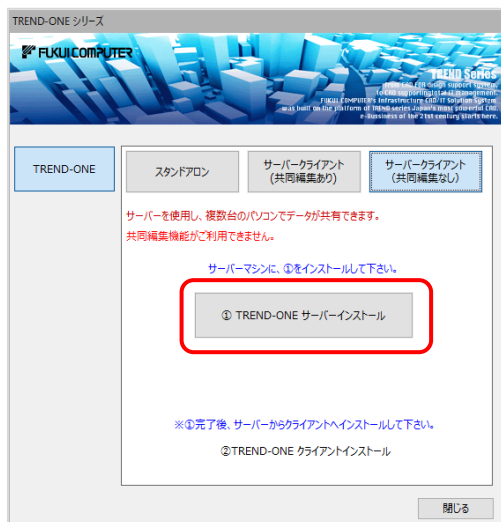
(次ページへ続く)

まず、サーバーマシンにプログラムをインストールします

1. セットアップ画面にて[サーバークライアント(共同編集なし)]タブを選択します。



- 〔① TREND-ONE サーバーインストール〕ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

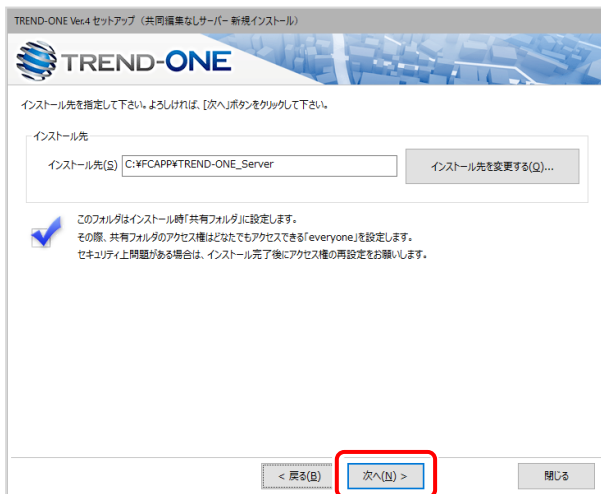


- 〔ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します〕を選択します。



(次ページへ進みます)

プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

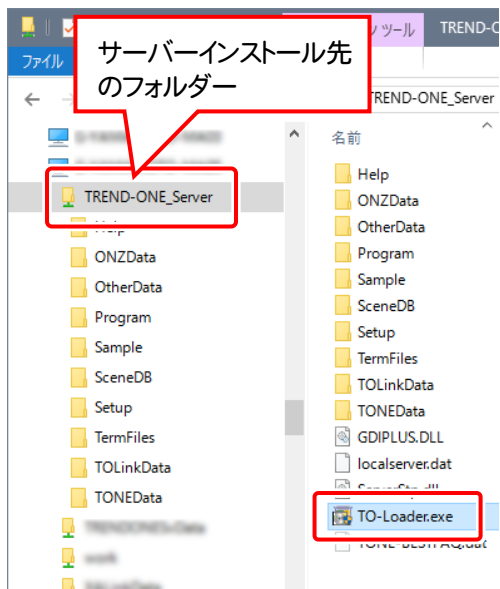


(次ページへ進みます)

次に、サーバーマシンにクライアントインストールをします

※こちらの操作は、サーバーマシンでも TREND-ONE を使用する場合のみおこなってください。

1. エクスプローラーを開き、[ネットワーク]からサーバーを参照して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある、「TO-Loader.exe」を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



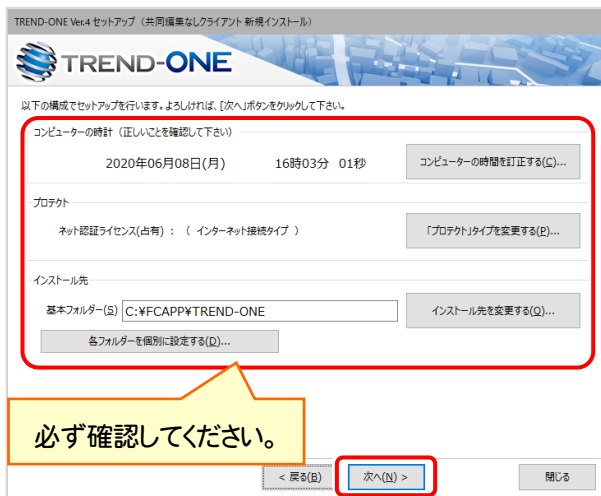
[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ進みます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。

5 ライセンスの取得

新サーバマシン、およびクライアントマシンでプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（LAN）の「ライセンス取得」をおこないます。

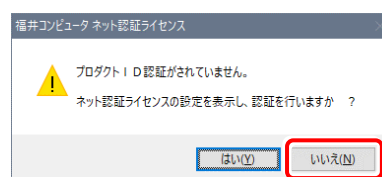
5-1 ネット認証ライセンス（LAN）の、ライセンス取得手順

ネット認証ライセンスを取得します。

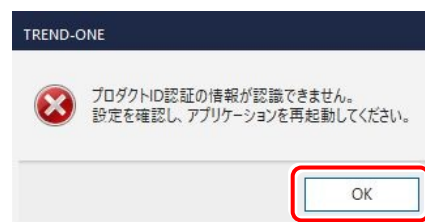
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



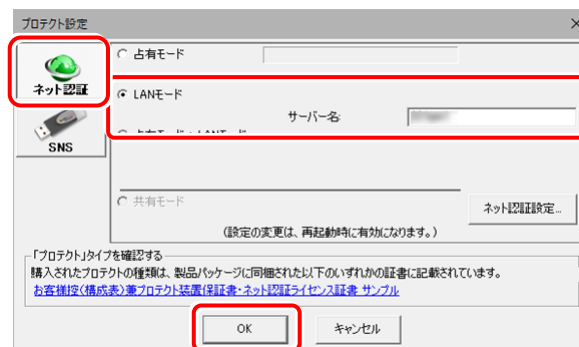
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ]を選択します。



次に表示されるメッセージは[OK]をクリックします。

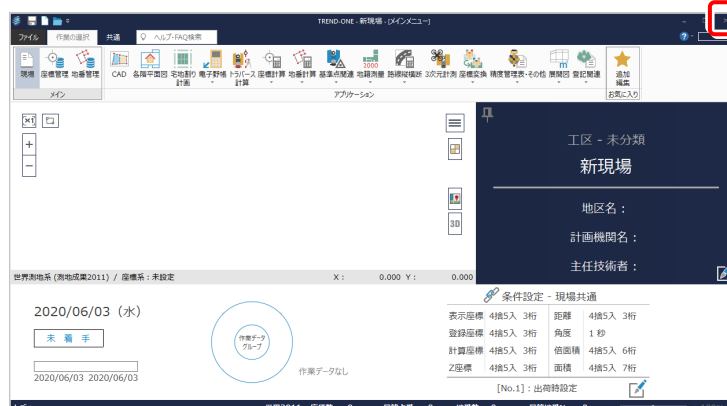


3. [プロテクト設定]画面で[ネット認証]の[LANモード]を選択してサーバー名を入力し[OK]をクリックします。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の[X]ボタンをクリックして、プログラムを終了します。



以上でライセンスの取得は完了です。

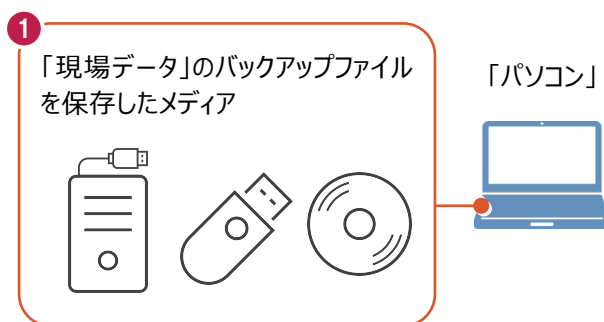
6 データ・設定のリストア（復元）

旧サーバーマシンでバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新サーバーマシンのTREND-ONEにリストア（復元）します。

※データ・設定のリストア（復元）をクライアントマシンからおこなう場合は、「8 サーバーの参照先変更」を先におこなってください。

6-1 「現場データ」をリストア（復元）する

- 1 いずれか 1 台のパソコンに、「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループ - [現場] をクリックします。

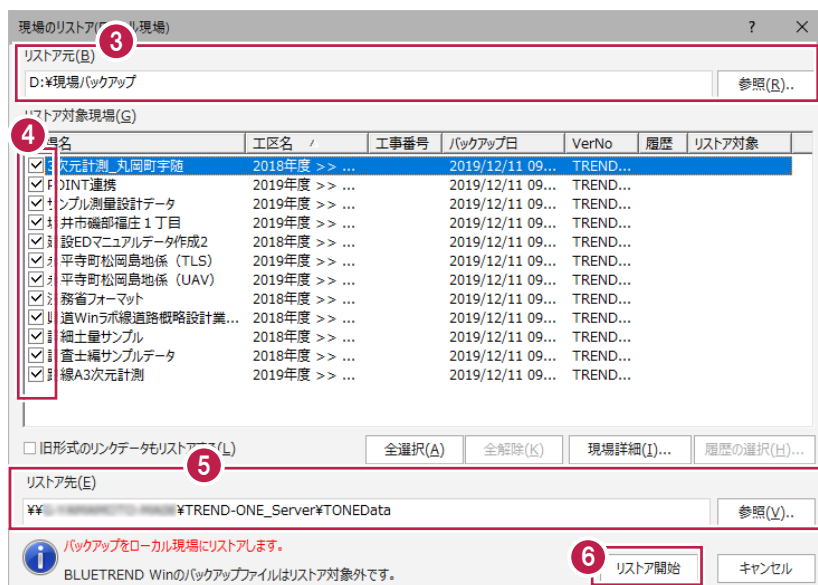


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 4 リストア（復元）する現場のチェックをオンにします。

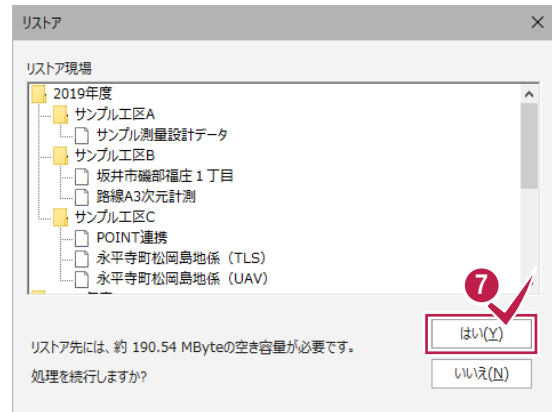
- 5 リストア（復元）先のフォルダーを指定します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



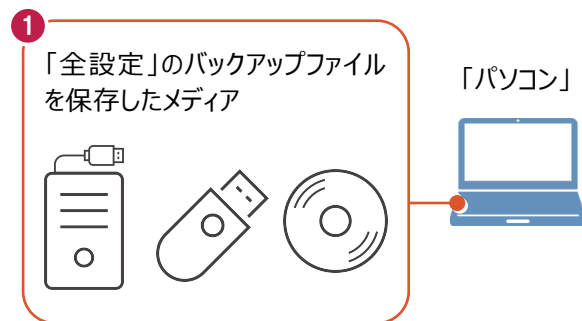
8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 「全設定」をリストア（復元）する

1 いずれか 1 台のパソコンに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



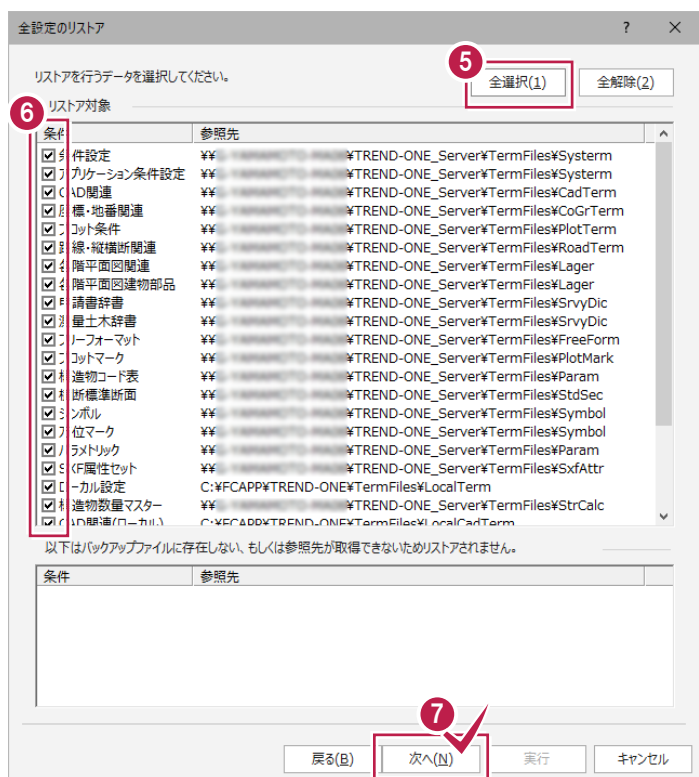
- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [全選択] をクリックします。

- ⑥ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



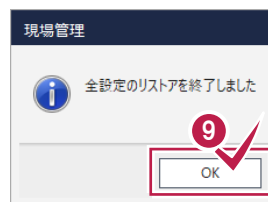
- ⑦ [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

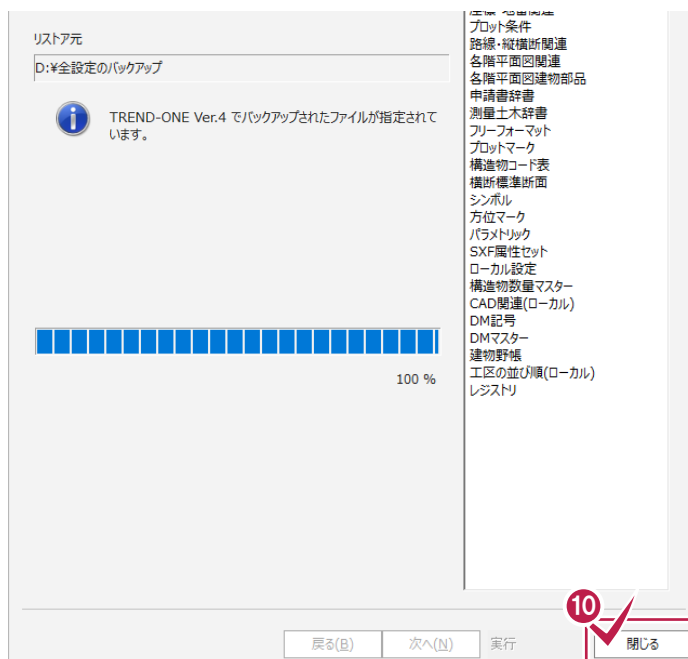


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上で「全設定のリストア（復元）」は完了です。



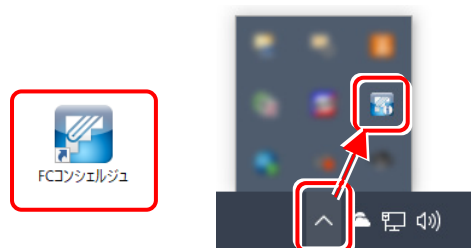
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

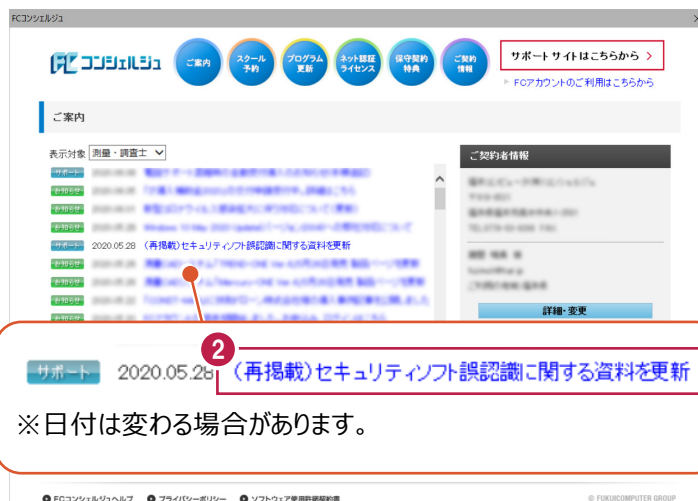
7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。

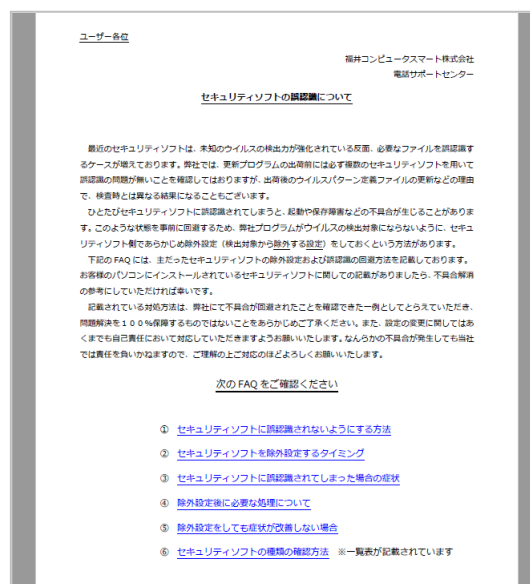


- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。

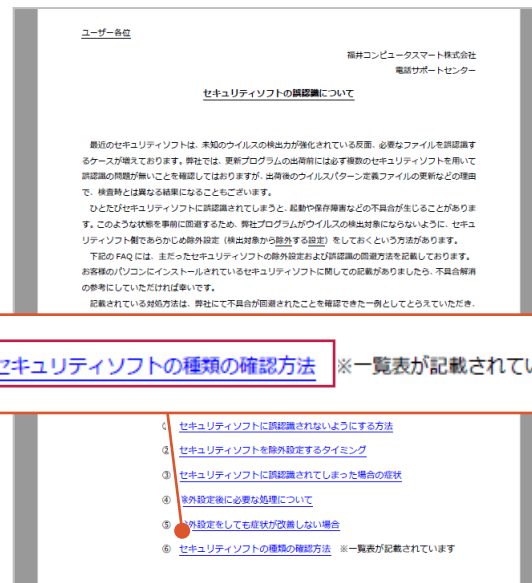
（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連>セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2020/05/27
Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。							
A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。							

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ウイルスバスター ビジネスセキュリティ クライアント ウイルスバスター ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16 エンドポイント セキュリティ

8 サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。

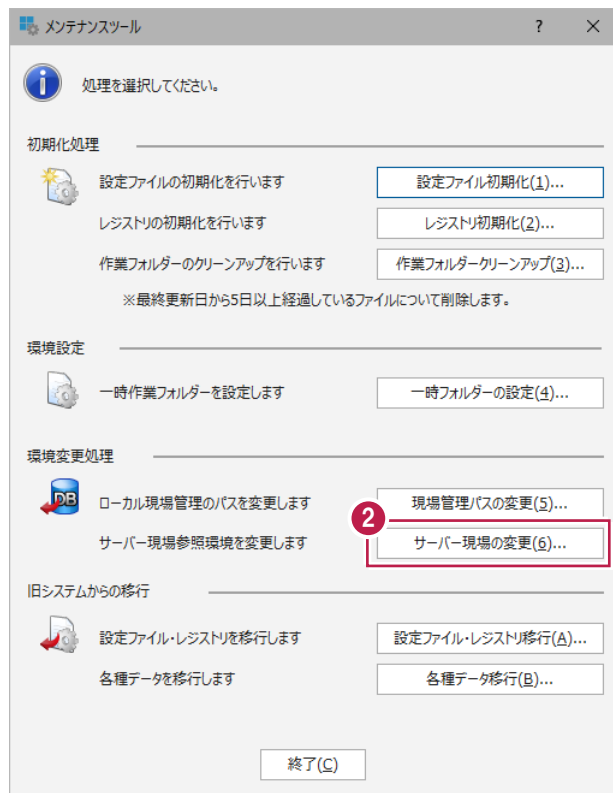
8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

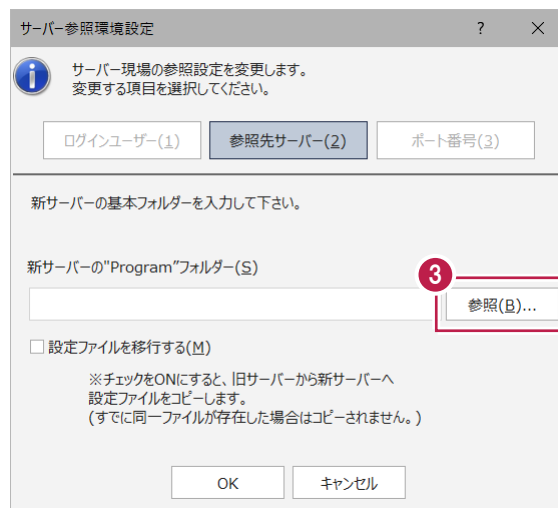
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] – [TREND-ONE Ver.~メンテナンスツール] を起動します。



- 2 メンテナンスツールの画面が表示されたら、[サーバー現場の変更] をクリックします



- 3 サーバー参照環境設定の画面で [参照] をクリックします。



- 4 新サーバーマシンの「TREND-ONE_Server¥Program」フォルダーを指定します。

- 5 [OK] をクリックします。



以上で、クライアントマシンのサーバー参照先変更は完了です。